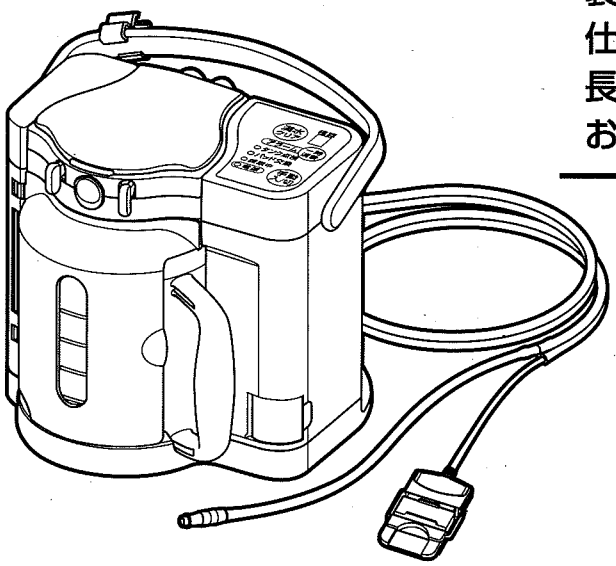
取扱説明書

尿吸引ロボヒューマニー 本体 レンタル用
HU-1000R1R

このたびは、尿吸引ロボヒューマニー本体レンタル用をご利用いただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書および「ヒューマニーチューブタンクセット」に付属の「①初めて使う方のために」、「②上手にお使いいただくために」をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになった後は、大切に保存してください。

もくじ

チューブタンクセットの取りつけ…… 2～3
安全上のご注意 …… 4～5
各部のなまえ …… 6～7
ご使用前の準備 …… 8～9
尿タンクのセット …… 10
本体と尿吸引パッドの接続 …… 11～12
尿吸引パッドの装着 …… 12
運　転 …… 12
尿タンクに尿がたまったら …… 13～14
尿吸引パッドを取り替えるときは …15～17
お手入れ …… 18～26
ランプが点滅したら …… 27～29
「故障かな」と思ったら …… 30～33
製品を廃棄するときのお願い …… 34
仕　様 …… 34
長期間お使いいただくためのご注意 … 35
お客様ご相談窓口 …… 36



尿吸引ロボ Humany ヒューマニー

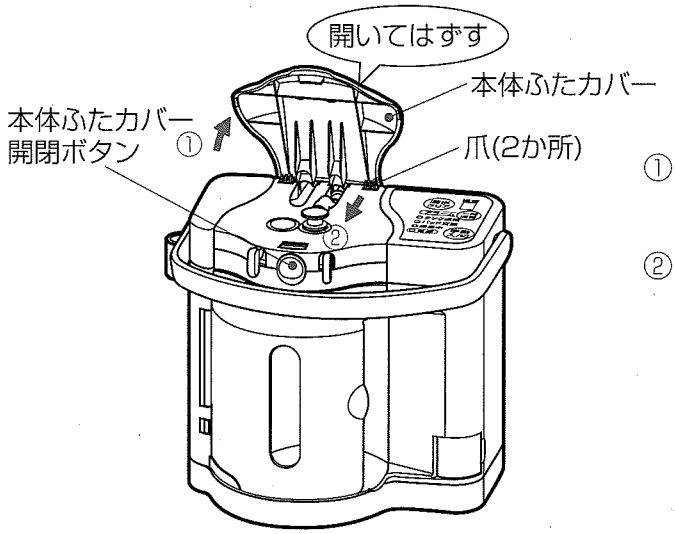
本製品を使用する際は、専用の「ヒューマニーチューブタンクセット」「尿吸引パッド」をお買い求めください。

チューブタンクセットの取りつけ

・本製品を使用する際は専用の「ヒューマニーチューブタンクセット」を取りつけてください。

尿吸引チューブの取りつけ

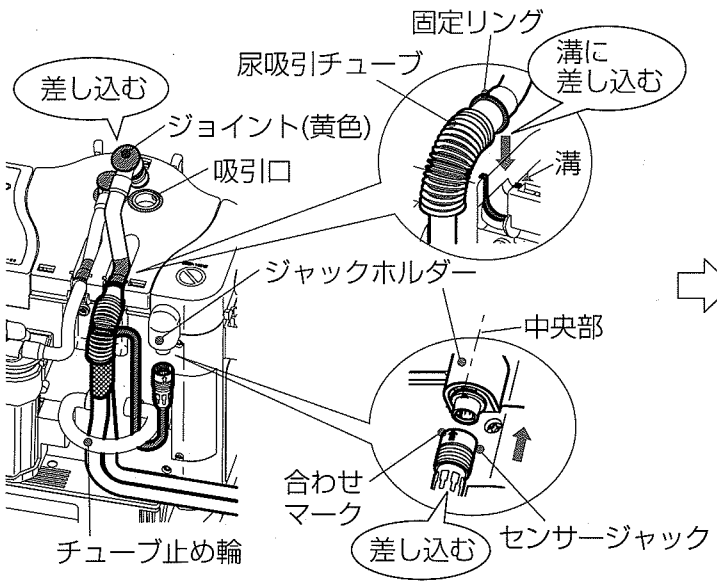
(1)本体ふたカバーをはずします。

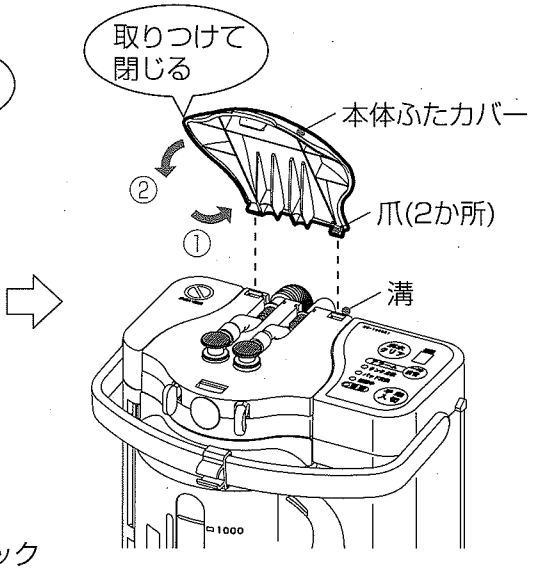


①本体ふたカバー開閉ボタンを押して、本体ふたカバーを開きます。

②本体ふたカバーの爪部を手前にはずすと上方に取りはずせます。

(2)尿吸引チューブ（接続ケース）を取りつけます。





①センサージャックを接続します。
- センサージャックの（⬆）マークをジャックホルダーの中央部に 合わせて接続してください。

②尿吸引チューブをチューブ止め輪の下から通し、ジョイント（黄色）を吸引口に止まるまでしっかりと差し込みます。
- 尿吸引チューブが折れ曲がったりつぶれないように注意してください。

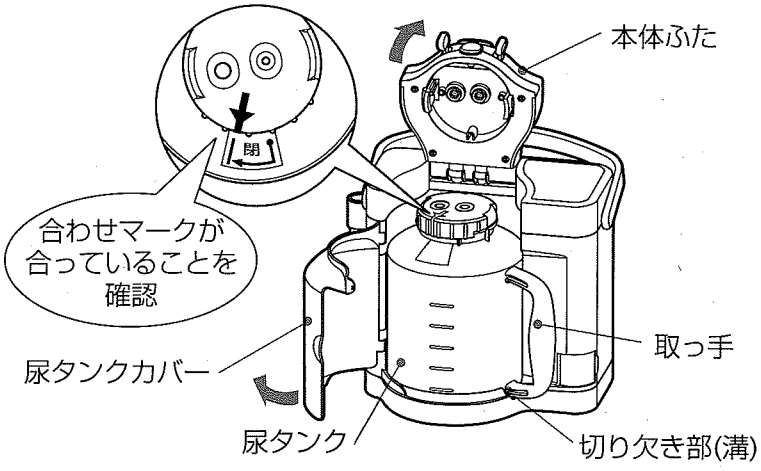
③本体ふたカバーの爪部（２か所）を本体の溝に取りつけ、本体ふたカバーを「カチッ」と音がするまで抑えて閉じます。

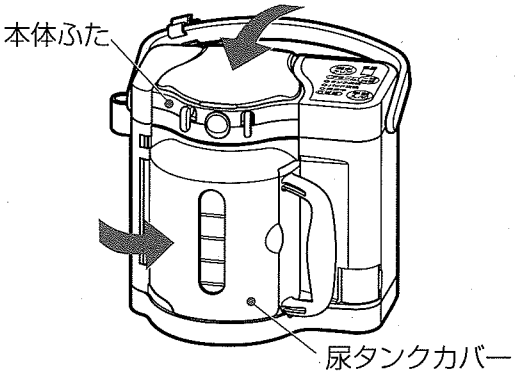
注 意

- センサージャックの接続が不十分な場合、接続ケースにパッドセンサーを接続しても確認ランプ「１」が消灯しません。（11ページ参照）
- ジョイントの差し込みが不足していますと吸引できません。
- しっかりと押し込んでください。
  尿吸引チューブの固定リングは必ず本体の溝に差し込んで固定してください。

（ご使用前の準備）

尿タンクの取りつけ

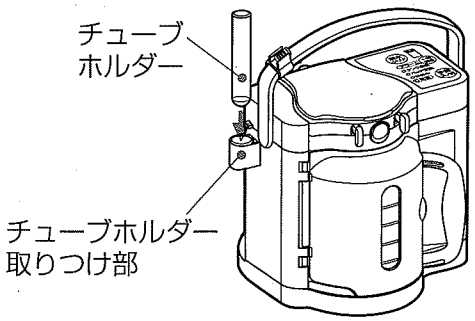




①本体ふたと尿タンクカバーを開いて尿タンクを取りつけます。
- 尿タンクの取っ手が本体右側の切り欠き部（溝）にくるよう取りつけます。

②尿タンクカバーと本体ふたを閉じます。
- 本体ふたは「カチッ」と音がするまでしっかりと押し下げます。

チューブホルダーの取りつけ



①チューブホルダーはチューブホルダー取りつけ部に差し込みます。

動作の確認

ヒューマニーチューブタンクセットを取りつけた後、9ページ「電源アダプターの接続」、11ページの「接続ケースの取りつけ」にしたがい、次の確認をしてください。

①尿吸引パッドの接続確認。
- 電源アダプタを接続し、電源スイッチを「入」にして、確認ランプ「1」を点滅させます。
(アラーム音が鳴りますので、「アラーム一時消音」ボタンを押してアラーム音を停止させます。)
尿吸引パッドを接続ケースに取りつけ、確認ランプ「1」の消灯を確認します。

②吸引確認。
- 空のタンクを取りつけ、手動運転でバケツなどの容器にためた水（水道水）を尿吸引チューブで直接吸引します。
連続20秒間の吸引で、500～600ml吸引すれば正常です。

③尿タンク水位センサ、フロートセンサの確認。
- 吸引確認と同様に、手動運転で水を吸引し、約800mlでタンク点検ランプが点滅してアラーム音が鳴ることを確認します。
- 引き続き水を吸引して、約1000mlで確認ランプ「3」が点滅してポンプが自動停止することを確認します。（アラーム音は連続して鳴ります。）
- 尿タンクを本体から取りはずし、「満水クリア」ボタンを押して解除します。

安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 注意事項は次のように区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	取り扱いを誤った場合、**使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度。**
⚠注意	取り扱いを誤った場合、**使用者が傷害を負うことが想定されるかまたは物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。**

＜絵表示の例＞

⚠	**△記号は、警告・注意を促す内容を示す。** 図の中に具体的な注意内容が描かれています。
⃠	**○記号は、禁止の行為であることを示す。** 図の中に具体的な禁止内容が描かれています。 「分解禁止」　「ぬれ手禁止」　「水ぬれ禁止」
❗	**●記号は、「強制」を示します。** 「一般的な行為」　「電源プラグをコンセントから抜く」

- お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保存してください。

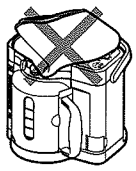
⚠警告

禁止	**交流100V(ボルト) 以外の電源は使用しない。**（発煙、発火、故障の原因）
	専用の電源アダプター以外は使用しない。(火災、感電、ショートの原因)
	引火性のもの(ガソリン、ベンジン、シンナーなど)や火気のある所で使用しない。（爆発、火災の原因）
	乳幼児や子供には絶対に触らせない。使用しない。（事故・感電、けがの原因）
	コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、本体に巻きつけたりしない。ゆるんだコンセントは使用しない。 (感電・ショート・やけど・火災の原因)
	コードをベッドのキャスターやイスなどで踏まない。また、コードの上に乗ったり物を乗せたりしない。(断線、ショートの原因)
	尿吸引チューブを首や身体に巻きつけない。(事故の原因)
	尿吸引以外に使用しない。(事故や故障の原因)
ぬれ手禁止	**本体や電源アダプターに水をかけない、また水分を多く含ませた布で本体をふかない。**(感電・ショートの原因)
	ぬれた手で電源アダプターを抜き差ししない。（感電・ショートの原因）
分解禁止	**改造は絶対しない。また修理技術者以外の人は、分解・修理しない。** (火災・感電・けがの原因)
必ず守る	**本器の取り扱いにあたり、必ず手袋・マスクを着用する。また取り扱い後の手洗いを励行する。**(感染の原因)
	本器使用中は、必ず毎日の肌ケアを行う。(オムツかぶれなど肌トラブルの原因) 別冊「②上手にお使いいただくために」をよくお読みください。
	市販の洗剤や薬品を使用する場合は、必ず説明書きを読む。(事故や故障の原因)

⚠警告

電源プラグを抜く	**手入れの際は、必ず電源アダプターをコンセントから抜く。** (感電、ショートの原因)
必ず守る	**ヒューマニーを使用する場合、電磁障害の影響を及ぼす機器との併用は避けてください。**（刺激を受けたり機器の故障の原因となります。） ・電位治療器 ・マイクロ波治療器など
	ヒューマニーを使用する場合、次のような医用電気機器との併用は誤動作を招く恐れがあるので、使用を避けるか必ず医師または電気機器の製造元に相談の上使用ください。 ・ペースメーカー、植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器 ・心電計などの装着形の医用電気機器

⚠注意

禁止	**センサーコードは引っ張ったり、折り曲げたりしない。**（断線、故障の原因）
	チューブは引っ張ったり、折り曲げたり、ねじったり、つぶしたりしない。 (吸引力が低下して尿漏れが発生する原因)
	尿吸引チューブを市販のチューブなどで延長しない。 (吸引力が低下して尿漏れが発生する原因)
	本体のふた上面には絶対に乗ったり、物をのせない。 (故障、性能が発揮できない原因)  ふたにものをのせない
	落としたりぶつけたりしない、また転倒させない。（故障、尿漏れの原因）
	尿タンクは煮沸消毒をしない。（変形、破損して故障の原因）
	尿タンクが割れたものや変形したものは使用しない。（尿漏れの原因）
	吸気口から液体や異物を入れない。(吸引しなくなり故障の原因)
	尿タンク内に洗剤が入ったまま運転しない。(泡を吸い込み故障の原因)
必ず守る	**専用の尿吸引パッド、尿タンク以外は使用しない。**(性能が発揮できない原因)
	本体は水平に設置して使用する。(尿こぼれ、性能が発揮できない原因)
	本体は使用者(尿吸引パッドの装着位置)と同じ高さか低い位置に設置する。 (尿が逆流したり、吸引力が低下して尿漏れが発生する原因)
	電源アダプターやセンサージャックを抜くときは、コードを持たずに抜く。 (感電・ショート・断線の原因)
	電源プラグや器具用プラグにほこりが付着しないよう定期的に掃除する。 (感電・ショート・発火の原因)

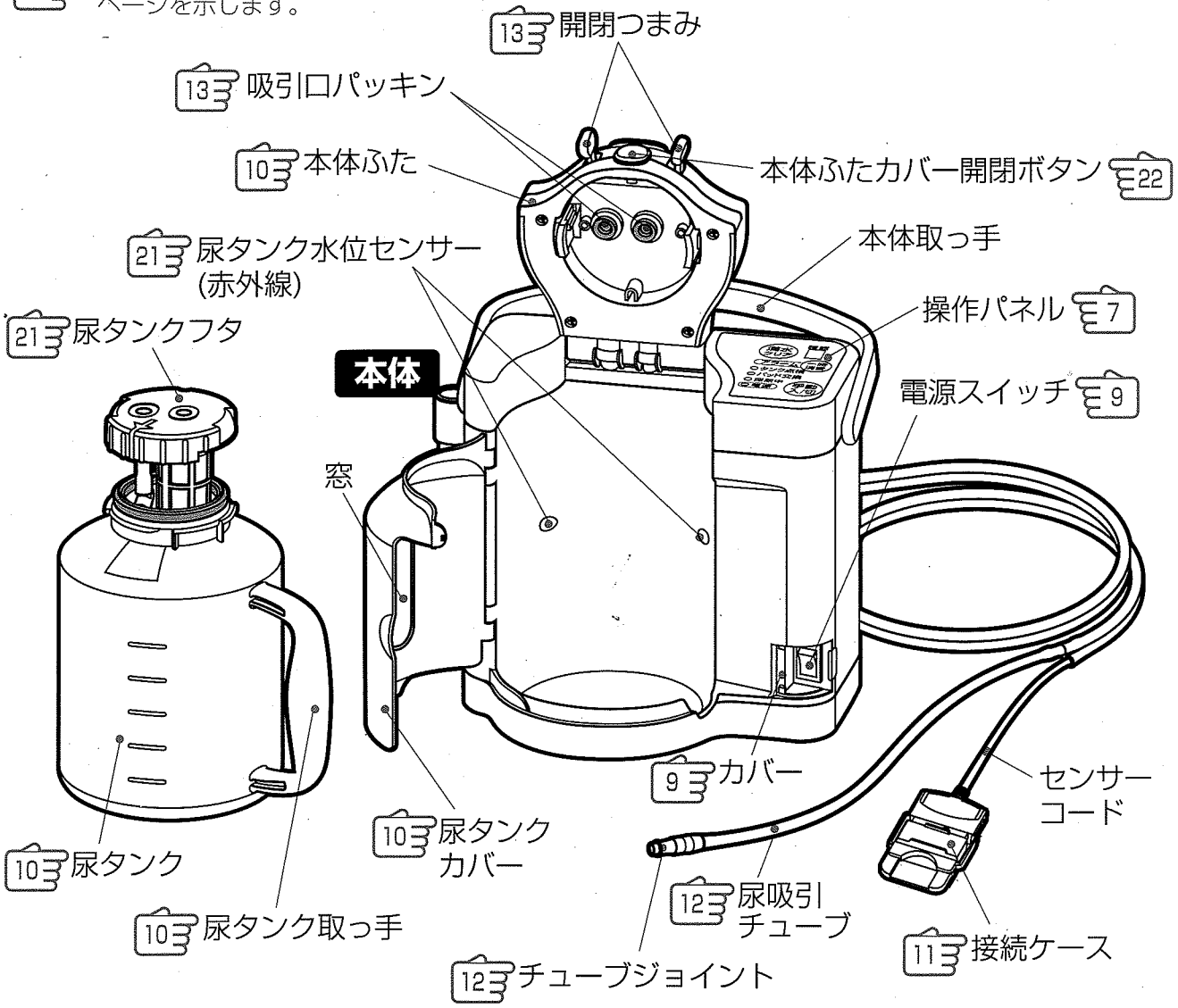
使用上のご注意

次のような場所には設置しない。(変形・変色・誤動作・故障の原因)

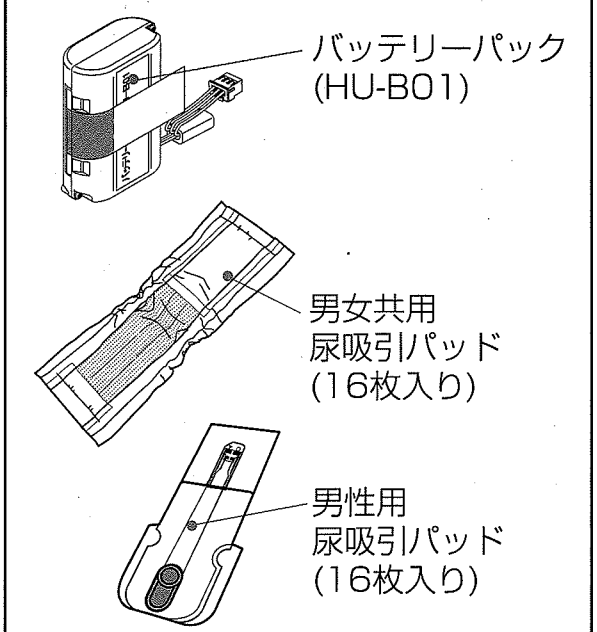
- **直射日光のあたるところ**
- **高温になるもの(60℃以上)の近く。**
- **屋外や風雨にさらされるところ**
- **浴室や水・蒸気がかかるところ**
- **凍結の可能性があるところ**

各部のなまえ （チューブタンクセット取りつけ状態）

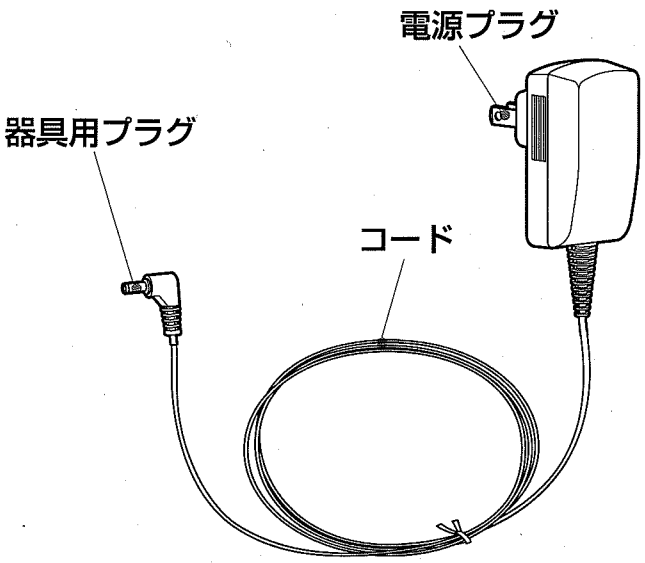
の中の数字は説明のあるページを示します。

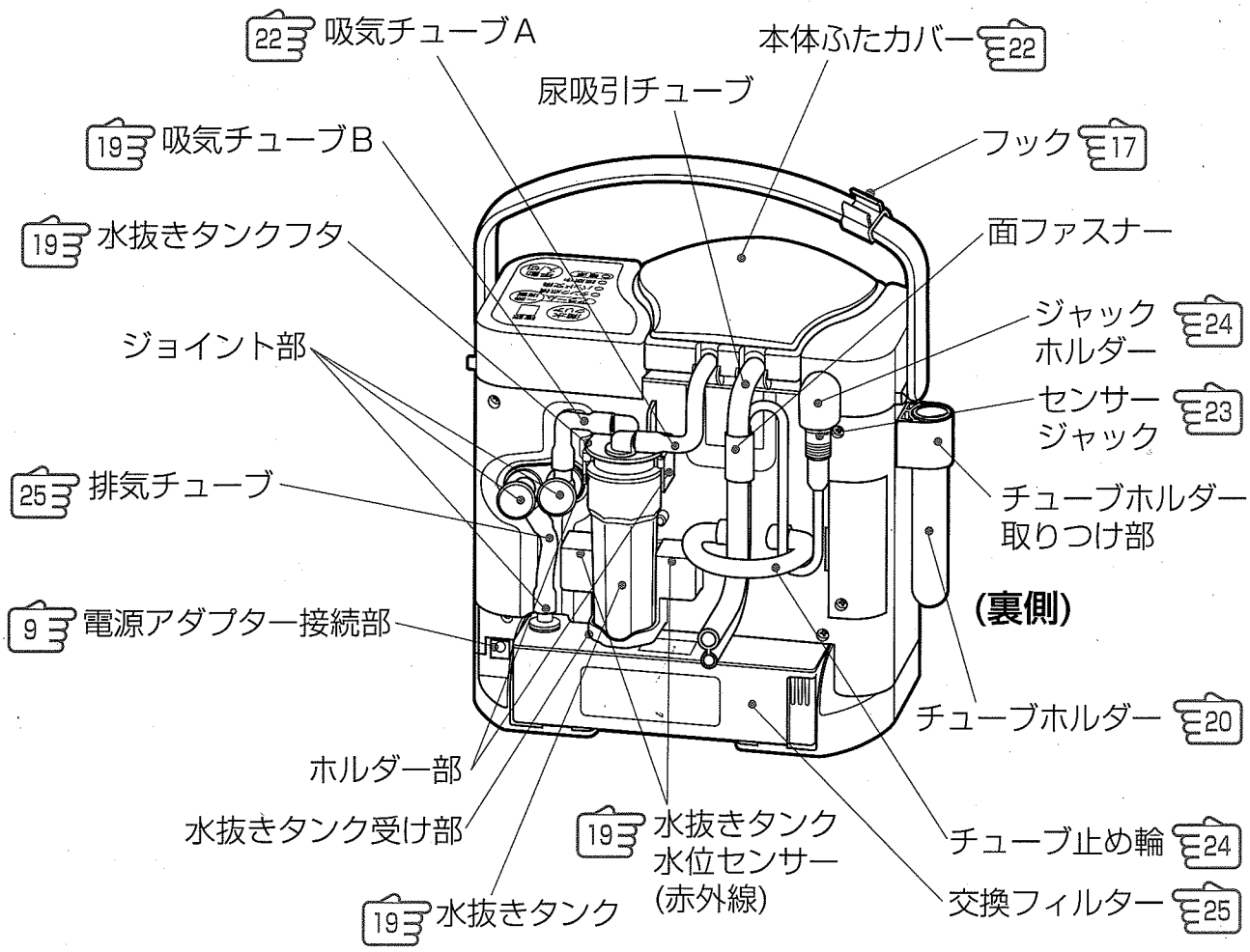


別売品
(付属していません)

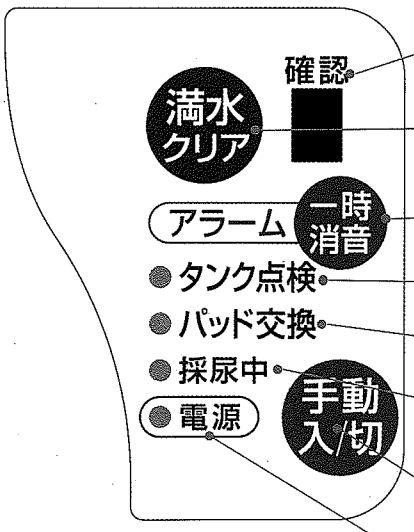


電源アダプター
(HU-A01)





操作パネル



なまえ	働き
「確認」ランプ(赤色)	各種エラーを数字(1～5、9)の点滅でお知らせします。(27ページ参照)
「満水クリア」ボタン (赤色)	満水エラー(確認ランプ3が点滅)の際、機器をリセットするときに押します。
「アラーム一時消音」ボタン	アラームを一時(約10分間)消音させるときに押します。
「タンク点検」ランプ (赤色)	尿タンクまたは水抜きタンクの点検が必要なとき点滅します。
「パッド交換」ランプ (赤色)	パッドの交換が必要なときに点滅します。
「採尿中」ランプ (緑色)	ポンプが運転しているときに点灯します。
「手動入/切」ボタン	押すとポンプが運転し、もう一度押すか3分以上経過すると自動で停止します。
「電源」ランプ (緑色)	電源を入れると点灯(緑)します。

付属品

・取扱説明書（本書）

ご使用前の準備

⚠注意

必ず守る	**本体が水平になるように設置する。** **ベッド・布団の上やぐらついた台の上、傾いたところなど、不安定な場所には設置しない。** （尿がこぼれたり、尿が本体に浸入して故障の原因）
	本体は使用者（パッドの装着位置）と同じ高さか低い位置に設置する。 （尿が逆流したり、吸引力が低下して尿漏れが発生する原因）
禁止	**尿吸引チューブを市販のチューブなどで延長しない** （吸引力が低下して尿漏れが発生する原因）
	尿吸引チューブを折り曲げたり、ねじったり、つぶしたりしない。 （吸引力が低下して尿漏れが発生する原因）

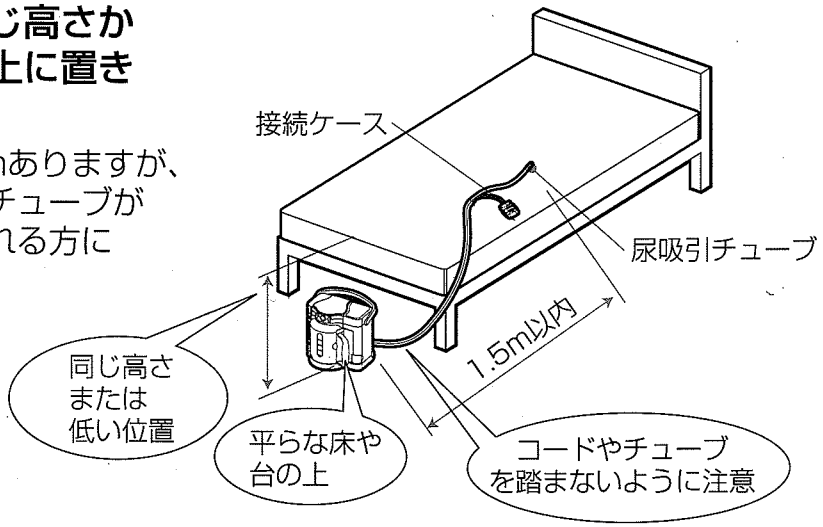
使用上のご注意	**次のような場所には設置しない。**（変形・変色・誤動作・故障の原因） **・直射日光のあたるところ。** **・高温になるもの（60℃以上）の近く。** **・屋外や風雨にさらされるところ。** **・浴室や水・蒸気がかかるところ。** **・凍結の可能性があるところ。**

- **本製品は、単独での使用はできません。必ず専用の「尿吸引パッド」をお買い求めください。**

本体の設置

1 本体は、使用される方と同じ高さか低い位置の平らな床や台の上に置きます。

- 尿吸引チューブの長さは約2mありますが、本体の転倒防止のため尿吸引チューブが少したるむ程度まで、使用される方に近づけて設置します。



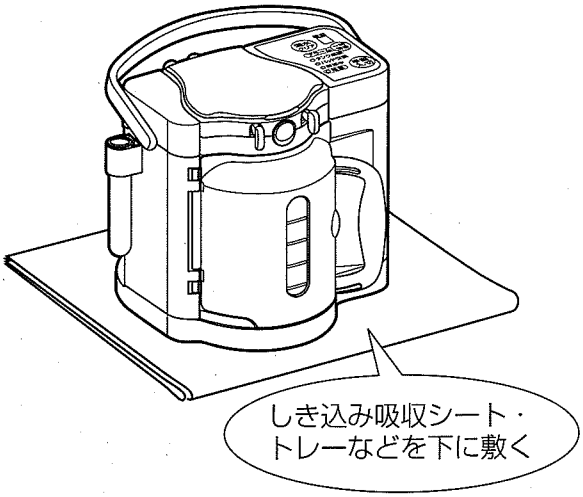
⚠警告

使用される方の頭部側に設置しない。
（尿吸引チューブが首や身体に巻きつく原因）

- 電動ベッドなどのフレームが当たらない位置に設置してください。

2 本体の下に専用のしき込み吸収シートまたは市販のトレーなどを敷きます。

- 使用中の尿垂れや尿がこぼれて床を汚すことを防止します。
- 専用のしき込み吸収シートについては、別冊の「②上手にお使いいただくために」をご覧ください。



電源アダプターの接続

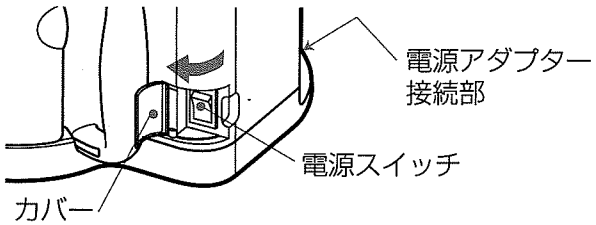
- 電源は必ず交流100Vで、付属の電源アダプターを使用してください。

⚠警告

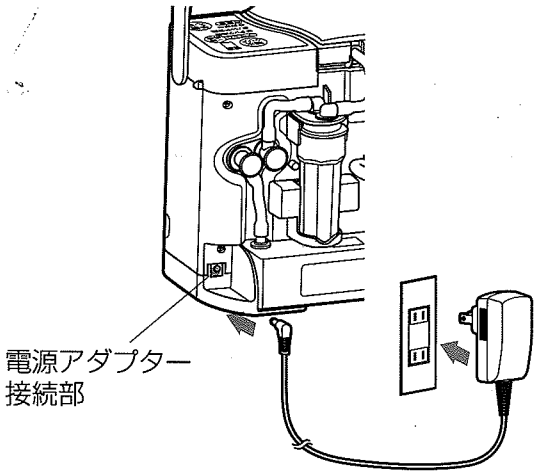
ぬれた手で電源アダプターをコンセントに抜き差ししない。
（感電・けがの原因）

1 電源スイッチのカバーを開け、電源スイッチを「切(○)」にします。

初めてお使いになる場合、電源スイッチは「切(○)」になっています。



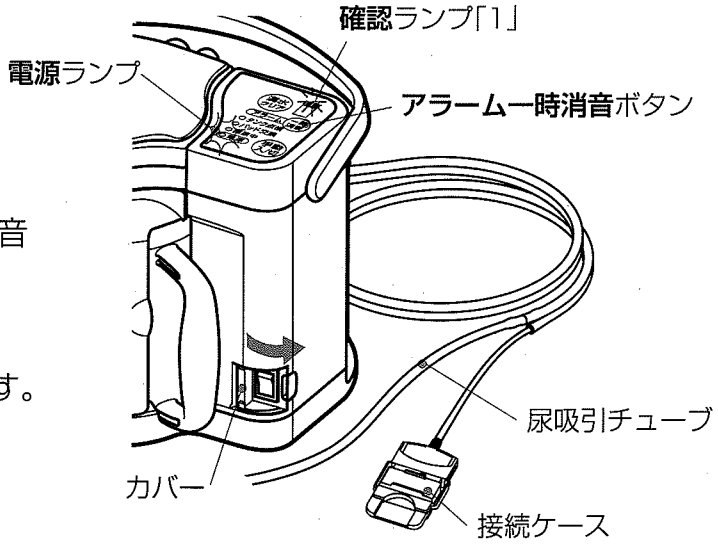
2 電源アダプターを本体とコンセントに接続します。

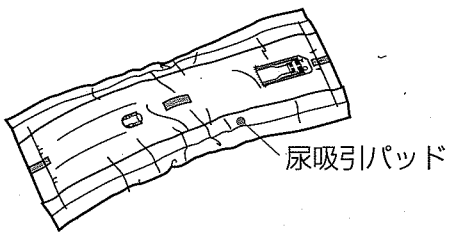


3 電源スイッチを「入(I)」にしてカバーを閉じます。

操作パネルの**電源**ランプ(緑色)が点灯します。

- **確認**ランプ「1」が点滅してアラーム音が連続して鳴りますが異常ではありません。(27ページ参照)
  アラーム一時消音ボタンを押すとアラーム音を約10分間停止できます。
  確認ランプ「1」はセンサーコードの接続ケースをセット完了するまで消灯しません。(27ページ参照)



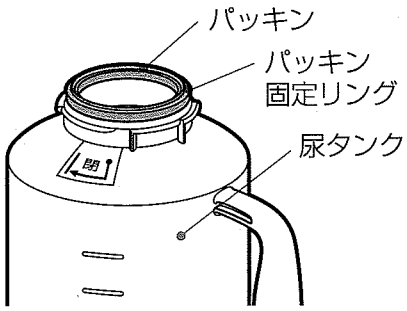


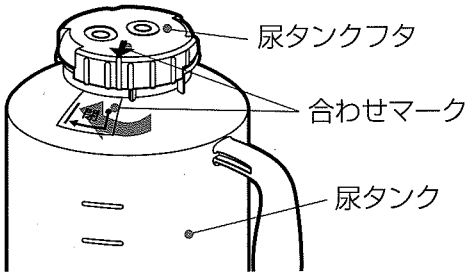
尿タンクのセット

⚠警告　**手袋・マスクの着用と手洗いを励行する。**
(感染の原因)

1 空の尿タンクに尿タンクフタを取りつけます。

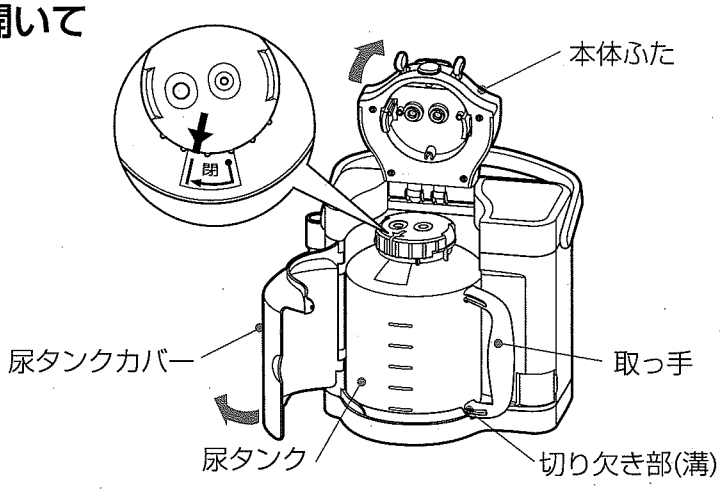
- 尿タンクの口にパッキンがついていることを確認します。
  パッキンが脱落していたり、傷や亀裂がある場合は、新しい尿タンクに交換してください。
- 尿タンクと尿タンクフタの合わせマークを合わせて右に止まるまでしっかりと閉めます。
  尿タンクフタが確実に閉まっていないと尿吸引できない場合があります。





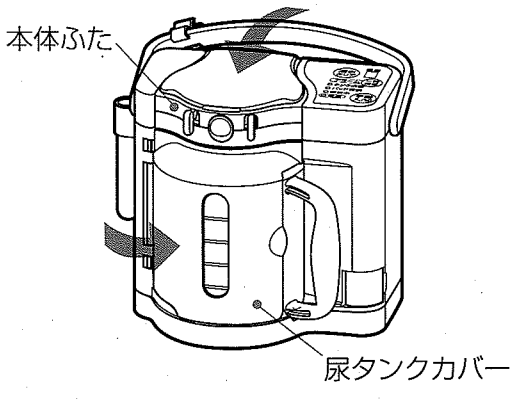
2 本体ふたと尿タンクカバーを開いて尿タンクを取りつけます。

- 尿タンクの取っ手が本体右側の切り欠き部(溝)にくるよう取りつけます。



3 尿タンクカバーと本体ふたを閉じます。

- 本体ふたは「カチッ」と音がするまでしっかりと押し下げます。



本体と尿吸引パッドの接続

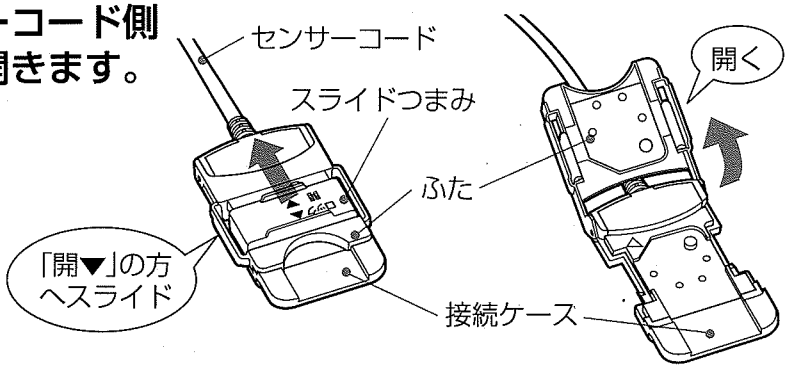
つづく

⚠警告　**手袋・マスクの着用と手洗いを励行する。**
(感染の原因)

- 接続ケースと尿吸引チューブは、専用の尿吸引パッドに取りつけてください。

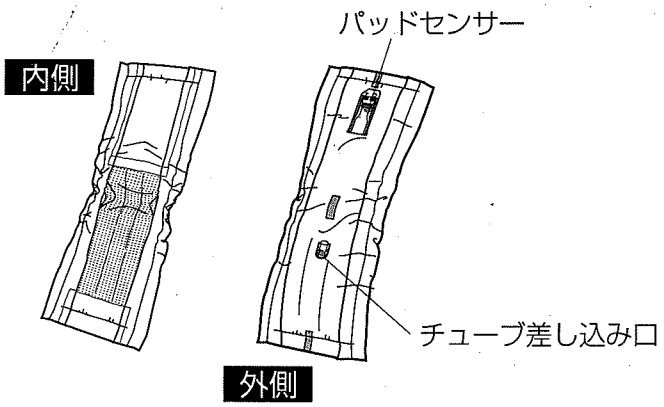
接続ケースの取りつけ

1 スライドつまみをセンサーコード側にスライドさせてふたを開きます。



2 専用の尿吸引パッドを広げて内側と外側を確認します。

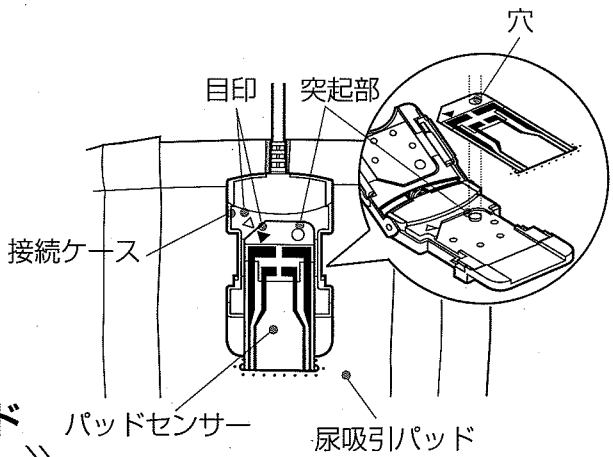
- チューブ差し込み口がある方が外側です。



3 尿吸引パッドのパッドセンサーに接続ケースを取りつけます。

- 接続ケースの突起部とパッドセンサーの穴を合わせ目印の(▲)同士を合わせて取りつけます。

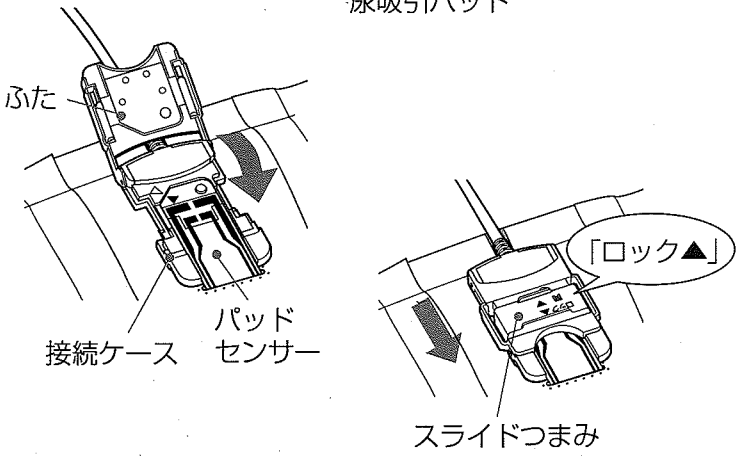
お願い
パッドセンサー部を折り曲げて接続しないでください。



4 接続ケースのふたを閉じてスライドつまみを「ロック▲」の方向にスライドさせます。

止まるまでスライドしないと接続ケースがはずれる場合があります。

注 意
- 確実に取りつけていないと**確認**ランプ「1」が消灯しません。(27ページ参照)
ふたを開いて取りつけ直してください。



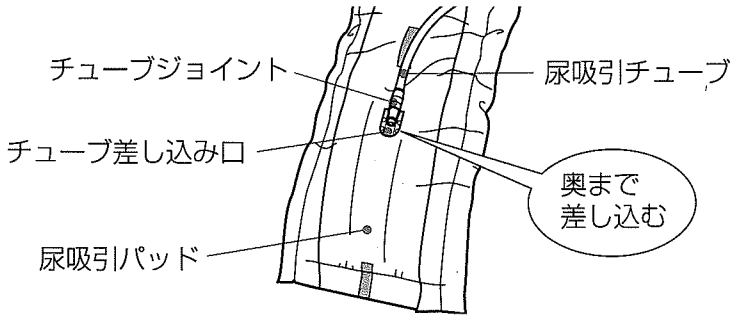
本体と尿吸引パッドの接続

⚠警告 **手袋・マスクの着用と手洗いを励行する。**
(感染の原因)

尿吸引チューブの接続

1 尿吸引チューブを尿吸引パッドのチューブ差し込み口に差し込みます。

- 奥までしっかりと差し込まないとチューブジョイントが抜ける場合があります。



尿吸引パッドの装着

⚠警告 **手袋・マスクの着用と手洗いを励行する。**
(感染の原因)

1 使用される方に尿吸引パッドを装着します。
装着方法については、「ヒューマニーチューブタンクセット」に付属の「①初めて使う方のために」をご覧ください。

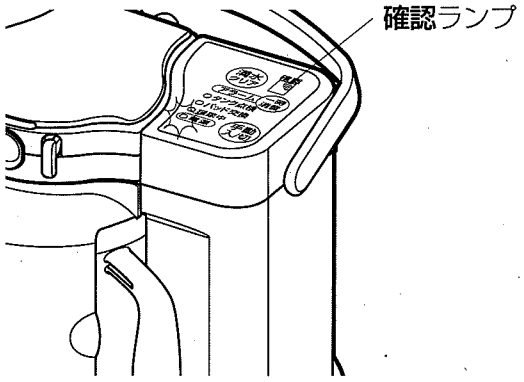
運　転

1 正しくセットできると、アラームが停止して確認ランプが消灯します。

- 各チューブの抜けや折れ曲がりがないことを確認します。
- 運転の準備が完了するとポンプが約2秒間運転してアラーム音が2回鳴ります。

注　意

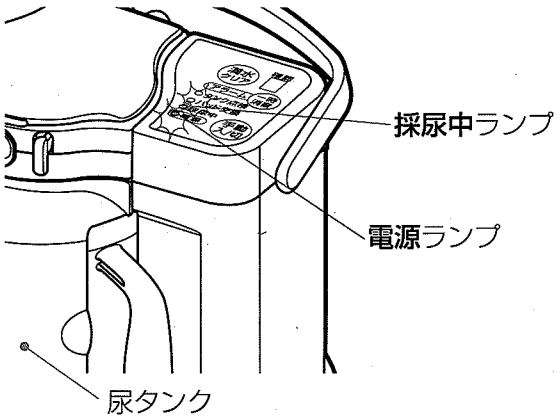
確認ランプが点滅していると自動吸引できません。
27ページの「ランプが点滅したら」に従い点検してください。



2 パッドセンサーが排尿を検知すると自動的にポンプが運転を開始して尿タンクに吸引します。

- 排尿が終わるとポンプが約2分間運転して、停止します。
- ポンプ運転中は**採尿中**ランプが点灯します。

1時間以上ポンプ運転がなかったときは、換気のため約10秒間自動的に定期運転します。



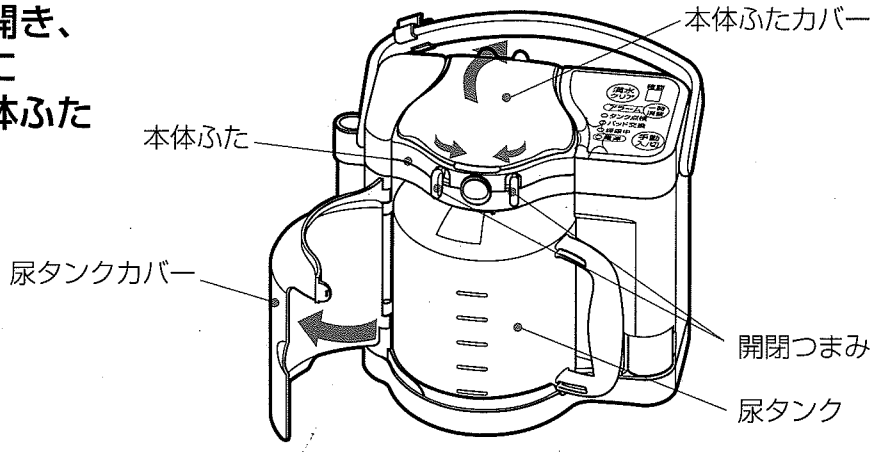
尿タンクに尿がたまったら

つづく

⚠警告 手袋・マスクの着用と手洗いを励行する。
(感染の原因)

尿の捨てかた

1 **尿タンクカバーを開き、開閉つまみを内側にスライドさせて本体ふたを上方に開けます。**

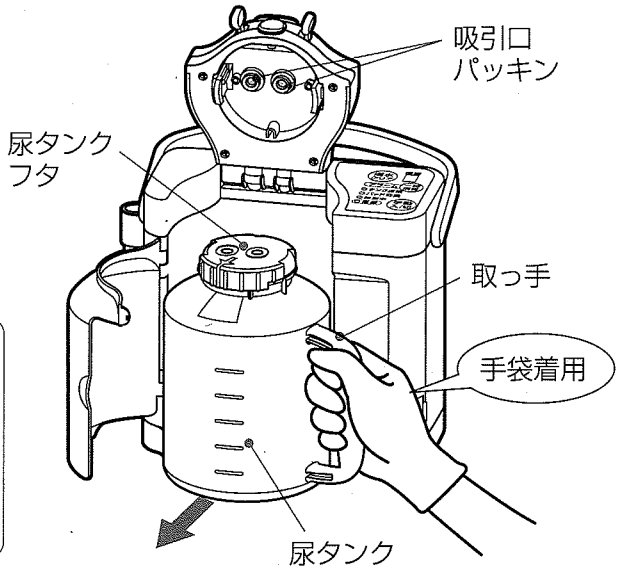


2 **尿タンクの取っ手を持ち、手前に引き出します。**

- 尿タンクは必ず取っ手を持ちます。フタ部分を持つと尿タンクフタがはずれて尿タンクが落下する場合があります。

注 意

- 尿タンクフタ上面と吸引口パッキンには白い固形物の汚れがたまることがあります。交換のたびにティシュや綿棒で汚れをふき取ってください。(汚れがひどくなると吸引できなくなります。)

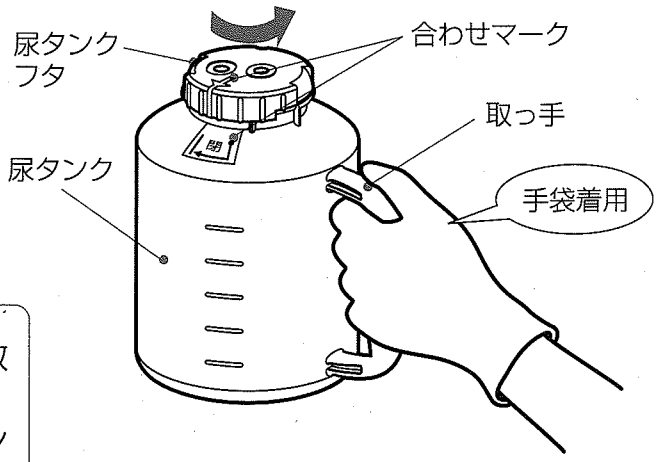


3 **尿タンクの取っ手をしっかりにぎって尿タンクフタをはずし、尿をトイレなどに流します。**

- 尿タンクフタを左方向(反時計回り)にまわして合わせマークを尿タンクの「●」マークに合わせてはずします。

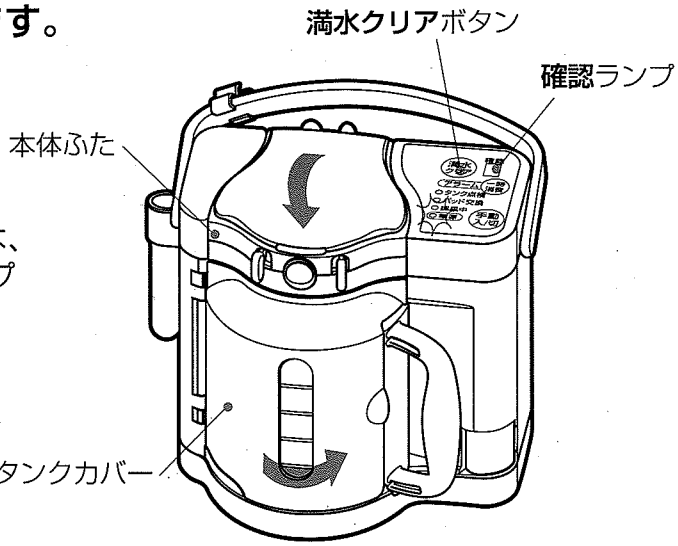
注 意

- 尿タンクをはずすときは、中の尿が飛散しないよう注意してください。
- 尿を捨てた後は、必ず尿タンク・尿タンクフタを水またはぬるま湯で洗浄してください。



尿タンクに尿がたまったら

4 空の尿タンクを本体にセットします。



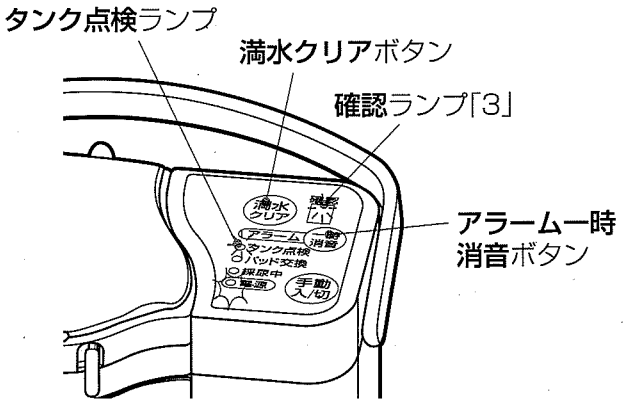
- 10ページの「尿タンクのセット」に従い尿タンクを取りつけます。
- **確認**ランプ「3」が点滅している場合は、**満水クリア**ボタンを押して**確認**ランプを消灯させます。(27ページ参照)

満水予告機能について

- 尿タンクの最大容量は、約1000mlです。必ず1000mlまで尿がたまる前に尿を捨て尿タンクを空にしてください。

約1000mlになると本器は安全のため運転を自動停止し吸引できなくなります。

1 尿量が約800mlまでたまると、「タンク点検」ランプが点滅してアラーム音が鳴ります。



- 少ない尿量でも尿の泡立ちが激しい場合は、尿タンク水位センサーが働いて**タンク点検**ランプが点滅してアラームが鳴りますが異常ではありません。
- 泡を吸引すると故障の原因になりますので、早めに尿タンクを空にしてください。
- **アラーム一時消音**ボタンを押すとアラーム音を約10分間停止できます。

2 尿量が約1000mlまでたまると、確認ランプ「3」が点滅してアラーム音が連続して鳴りポンプが自動停止します。

(27ページ参照)

- **アラーム一時消音**ボタンを押すとアラーム音を約10分間停止できます。
- ポンプが停止し、以降は自動吸引できなくなりますので、すみやかに尿を捨てます。
- 空の尿タンクを取りつけ**満水クリア**ボタンを押して**確認**ランプ「3」を消灯させます。

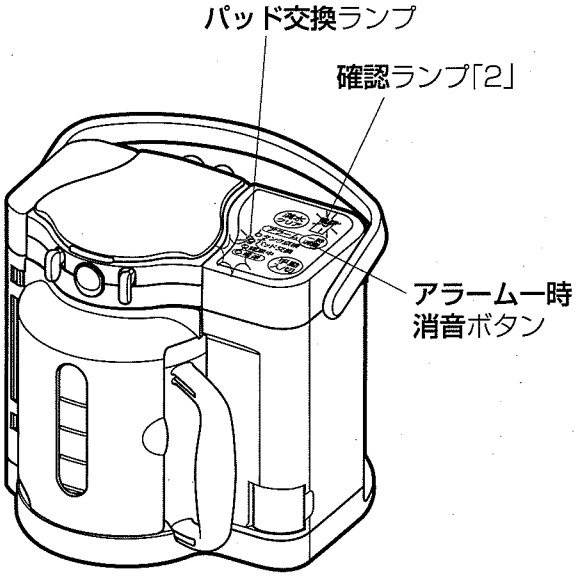
尿吸引パッドを取り替えるときは つづく

⚠警告 **手袋・マスクの着用と手洗いを励行する。**
(感染の原因)

交換時期

- 尿吸引パッドは消耗品です。
  同じ尿吸引パッドを24時間以上使用したり、使用済の再利用は絶対におやめください。
- **尿吸引パッドの装着が12時間を経過したり、尿吸引パッドを交換したときは、肌ケアを行ってください。**
  詳しくは、別冊の「②上手にお使いいただくために」をご覧ください。

1 「パッド交換」ランプが点滅すると尿吸引パッドの交換時期です。すみやかに尿吸引パッドを交換してください。



- 一度装着した尿吸引パッドを24時間連続使用したとき。
- 24時間経過前でも便などで尿吸引パッドが汚れてきたとき。

注 意
- 便の汚れ具合で**パッド交換**ランプが点滅しない場合があります。
  パッドセンサーは排便を感知しません。

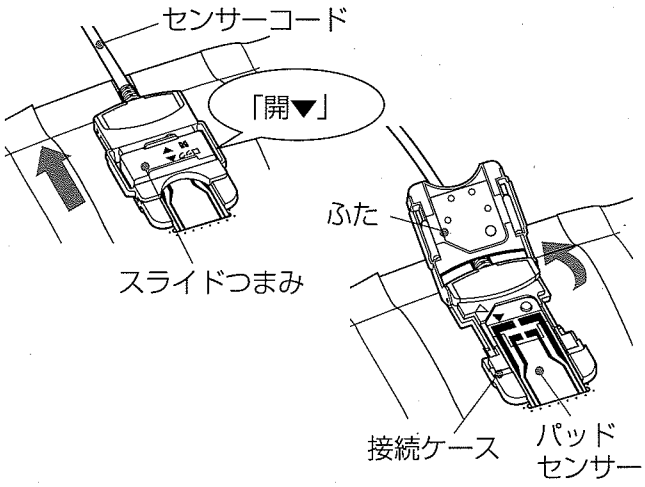
- 正常な吸引運転ができなくなったとき。
  (尿吸引チューブが抜けたときなど)

確認ランプ「2」が点滅します。27ページの「ランプが点滅したら」をご覧ください。
アラーム音が鳴っているときに**アラーム一時消音**ボタンを押すと約10分間停止します。

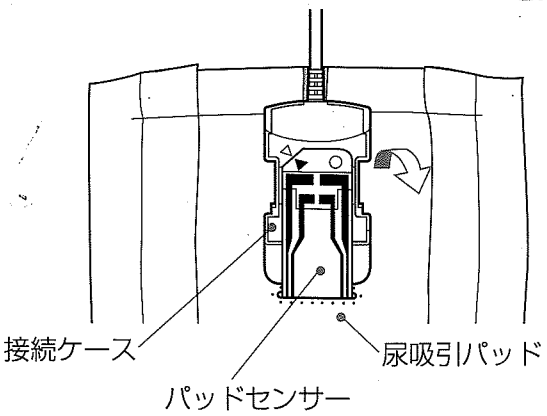
尿吸引パッドを取り替えるときは

尿吸引パッドのはずしかた

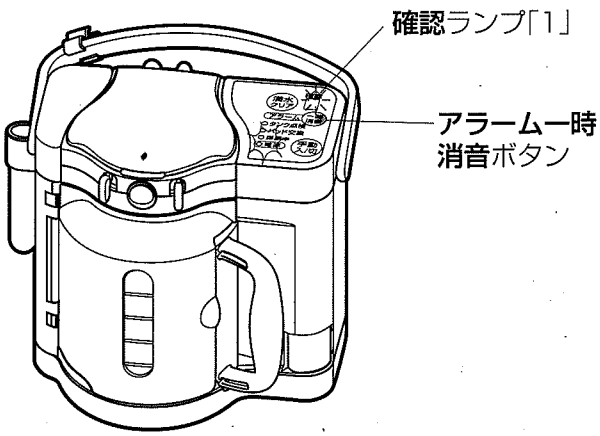
1 **接続ケースのスライドつまみをセンサーコード側(開)にスライドさせて、ふたを開きます。**



2 **接続ケースをパッドセンサーからはずします。**

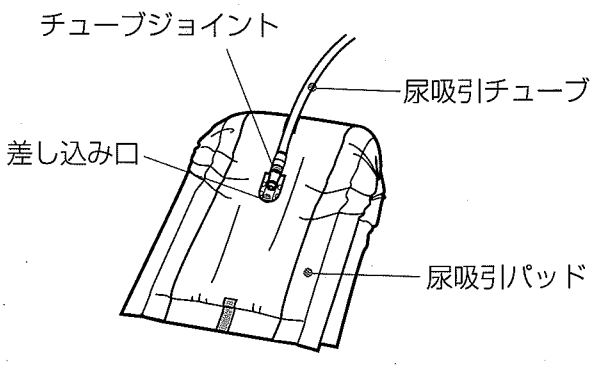


- **確認**ランプ「1」が点滅してアラーム音が連続して鳴ります。(27ページ参照)
  アラーム一時消音ボタンを押すとアラーム音を約10分間停止できます。



3 **尿吸引パッド外側の差し込み口から尿吸引チューブを引き抜きます。**

- 差し込み口を押えてチューブジョイントを持って引き抜きます。



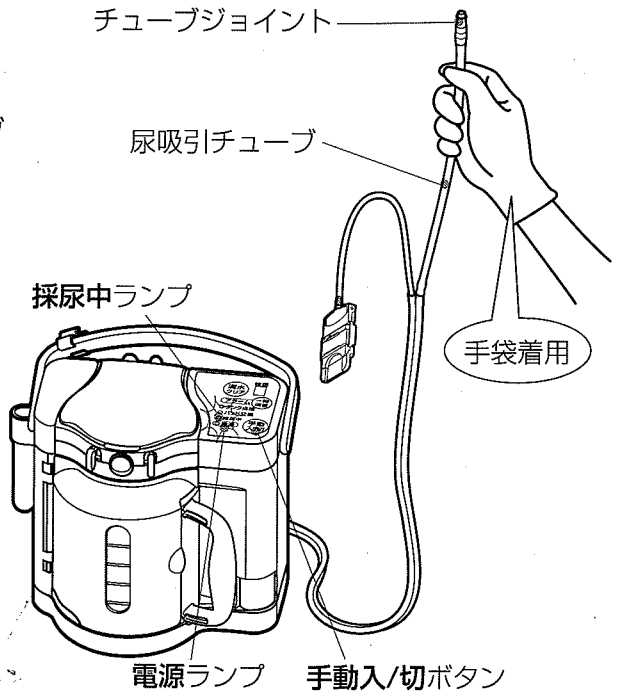
注 意

- 尿吸引チューブを引き抜くと、チューブジョイントから、尿が飛散することがあります。
- 尿吸引チューブ内にも尿が残っていることがありますのでチューブジョイントを下げないでください。

尿吸引チューブ内に残った尿の処理方法

1 **チューブジョイントを持ち上げたまま「手動入/切」ボタンを押します。**

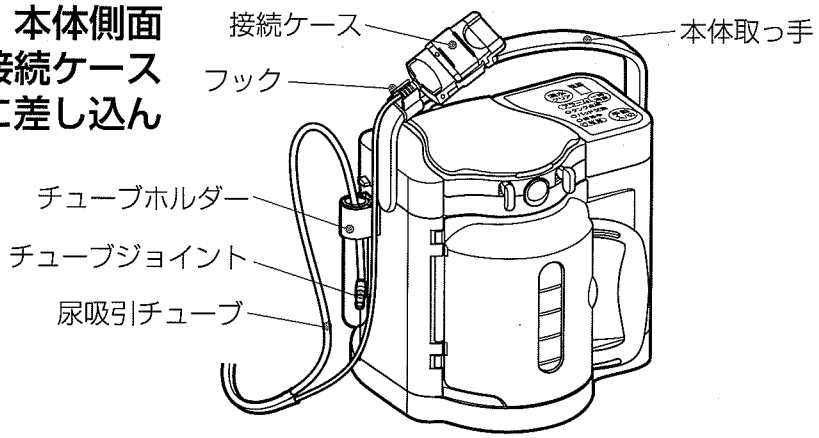
- **採尿中**ランプが点灯して尿吸引チューブ内の尿を尿タンクに吸引します。



2 **約1分間で吸引が完了しますので「手動入/切」ボタンを押します。**

- **手動入/切**ボタンを押さなくても約3分間で自動停止します。

3 **チューブジョイントは、本体側面のチューブホルダーに接続ケースは本体取っ手のフックに差し込んで置くことができます。**

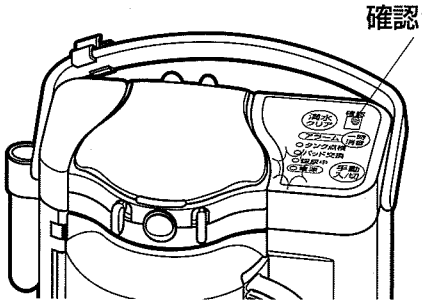


尿吸引パッドの交換

- **尿吸引パッドは消耗品です。少なくとも毎日(24時間以内)新しい尿吸引パッドに交換してください。**
- **使用済み尿吸引パッドの再利用は絶対におやめください。**

1 **新しい尿吸引パッドに接続ケースと尿吸引チューブを接続します。**

- 11～12ページの「本体と尿吸引パッドの接続」に従い尿吸引パッドに取りつけます。
- **確認**ランプが消灯していることを確認します。



尿吸引パッドの装着

1 **使用される方へ尿吸引パッドを装着します。**

- 装着方法については、別冊の「①初めて使う方のために」をご覧ください。

お手入れ

- 故障なくお使いいただくために、定期的にお手入れをしてください。

⚠警告	**本体に水をかけたり、水分を多く含んだ布で本体をふかない。** (感電·ショートの原因)
	ぬれた手で電源アダプターを抜き差ししない。 (感電·ショートの原因)
	お手入れ(尿吸引チューブを除く)の際は、必ず電源スイッチを切り電源アダプターをコンセントから抜く。(感電·ショートの原因)
	本器の取り扱いにあたり、必ず手袋・マスクを着用する。また取り扱い後の手洗いを励行する。(感染の原因)
	市販の洗剤や薬品を使用する場合は、必ず説明書きを読む。 (事故や故障の原因)
⚠注意	**尿吸引チューブ、センサーコードは、引っ張ったり曲げたりしない。**(故障の原因)

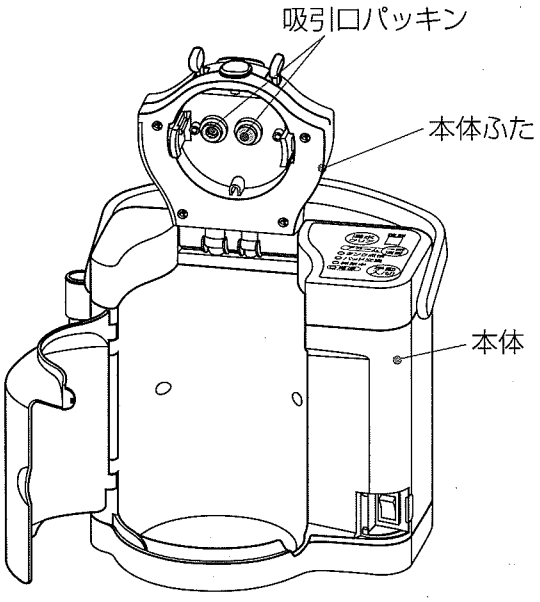
本体とチューブホルダーのお手入れ

1 本体の汚れは、水またはぬるま湯を含ませて固く絞った布でふきます。

- 汚れのひどい場合は、消毒用アルコールを少量含ませてふきます。

注 意

- 水洗いしたり、水分を多く含んだ布でふかない。
- ベンジン、シンナーなどは使用しない。



2 本体ふた裏側の吸引口パッキンについた汚れは、ティシュまたは綿棒でふきとります。

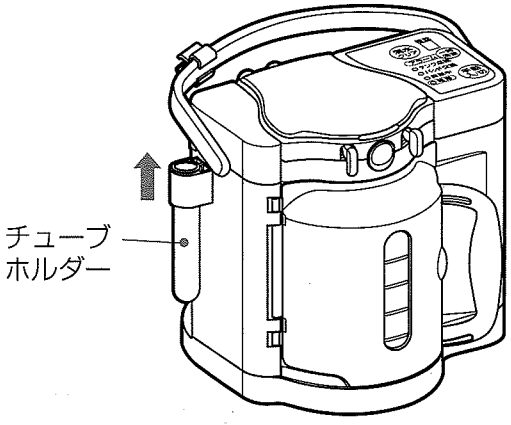
- 白い固形物など汚れがたまっている場合は、ぬるま湯または消毒用アルコールを含ませて、ふきとります。

注 意

- 汚れをそのまま放置しますと尿の吸引ができなくなります。

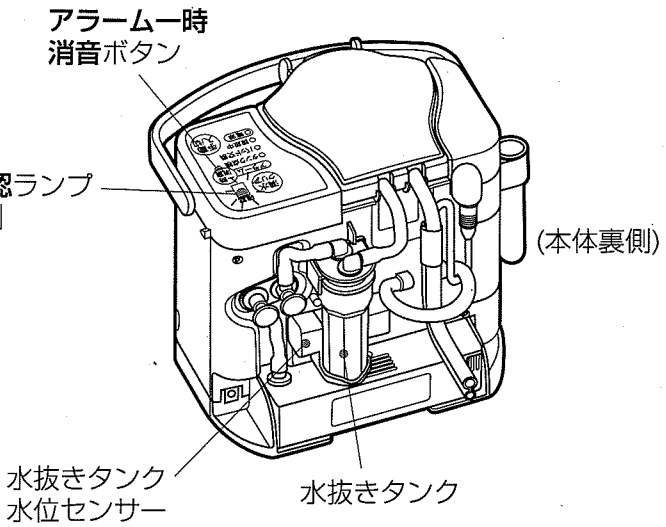
3 チューブホルダーは上方に引き抜いてはずします。

- 使用の都度、水またはぬるま湯で洗浄して乾燥させてから取りつけます。
- 汚れがひどい場合は、次亜塩素酸ナトリウム溶液(0.1%)に1～2時間つけ置き洗いします。
  洗浄後は水洗いしてよく乾かしてください。



水抜きタンクのお手入れ

1 **使用中、配管内に発生した結露水が水抜きタンクにたまります。水量をこまめに確認して水抜きタンクを空にしてください。**
(1週間に1回が目安です。)

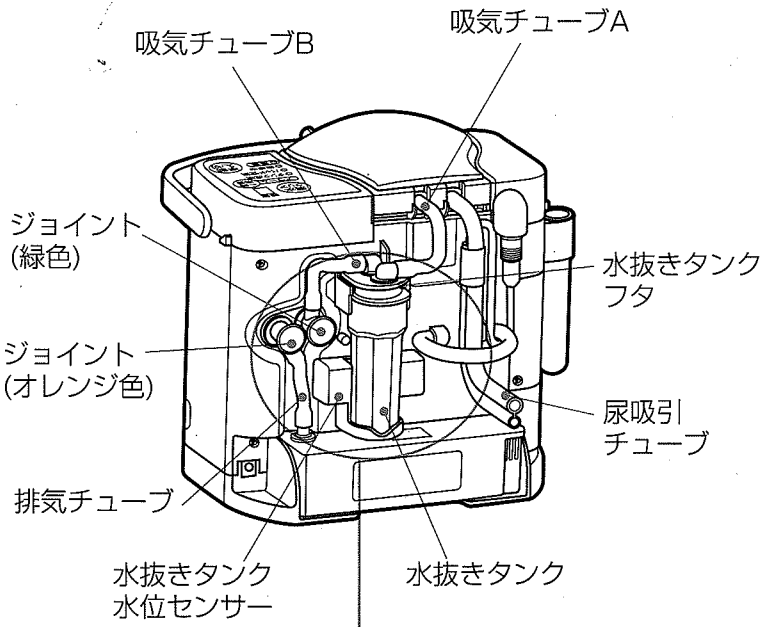


注 意

- 万一、尿が水抜きタンク内に入ってしまった場合は、すみやかに水抜きタンクと各チューブをはずして水またはぬるま湯で洗浄してください。

- 使用中水抜きタンクの水量が「洗浄目安(18ml)」までたまると水抜きタンク水位センサーが働いて**確認**ランプ「4」が点滅してアラーム音が連続して鳴り吸引運転を停止します。
(27ページ参照)

- **アラーム一時消音**ボタンを押すとアラーム音を約10分間停止できます。

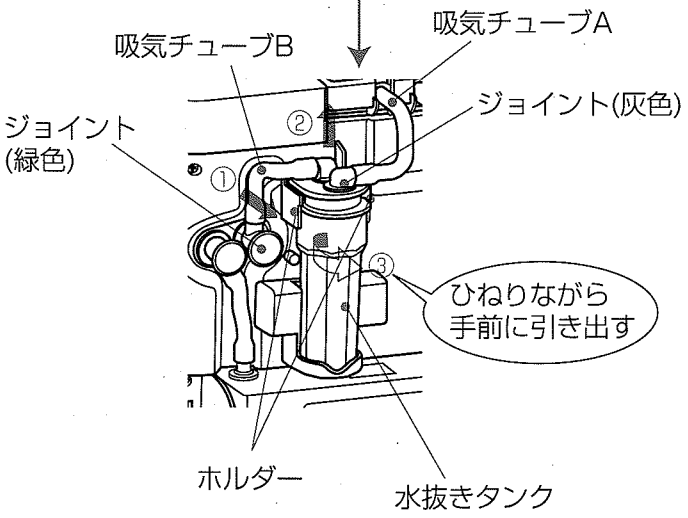


2 **水抜きタンクをはずします。**

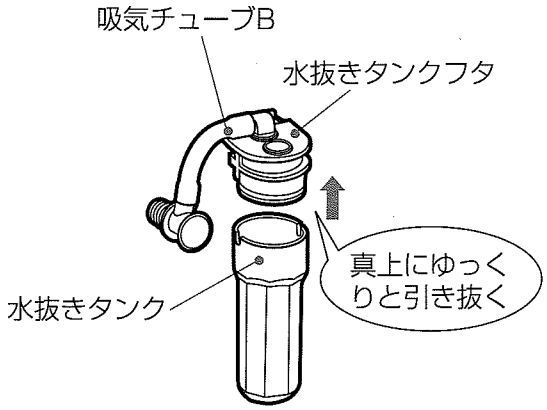
① 吸気チューブBのジョイント(緑色)を抜きます。

② 水抜きタンクフタについた吸気チューブAのジョイント(灰色)を抜きます。

③ 水抜きタンクの両側をつかんでひねるようにホルダーから手前に引き出し上方向に引き抜きます。
- 水抜きタンクをはずすと、**確認**ランプ「4」が点滅してアラームが鳴ります。
(27ページ参照)



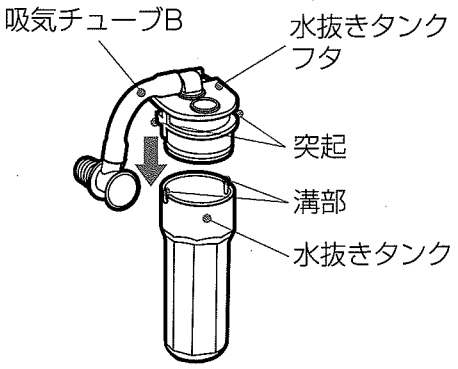
④ 水抜きタンクフタを上方向に引き抜いて中にたまった液を捨てます。



注 意

- 中にたまった液がこぼれないようにしてください。
- 必ず、水またはぬるま湯で洗浄して水分を切ってからセットしてください。

⑤ 汚れがひどいと水抜きタンク水位センサーが誤検知することがあります。次亜塩素酸ナトリウム溶液(0.1%)で1～2時間つけ置き洗いしてください。
洗浄後は水洗いして、よく乾かしてください。



お願い

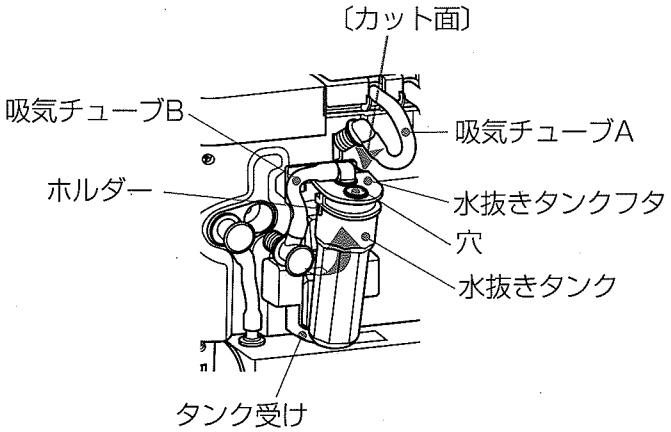
汚れが落ちないときは、新しい水抜きタンクと交換してください。

3 水抜きタンクを本体に取りつけます。

① 水抜きタンクフタの突起と水抜きタンクの溝部を合わせ、止まるまで押し込みます。

② 水抜きタンクの底部をタンク受けに入れ、ホルダーに差し込んで固定します。

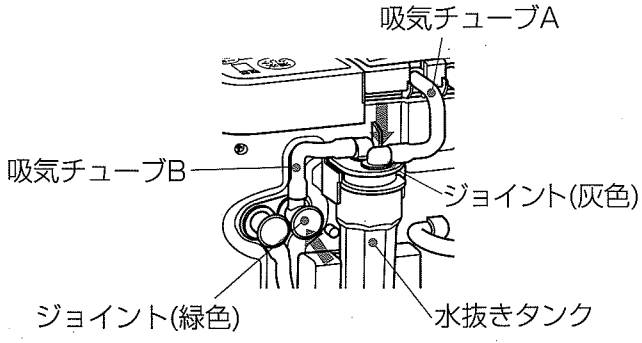
- 水抜きタンクフタのカット面が本体にあたる向きにします。



③ 吸気チューブBのジョイント(緑色)を本体の穴に、吸気チューブAのジョイント(灰色)を水抜きタンクフタの穴(灰色)にしっかりと押し込みます。

注 意

- チューブが折れたりジョイントがしっかり差し込まれていないと尿の吸引ができません。



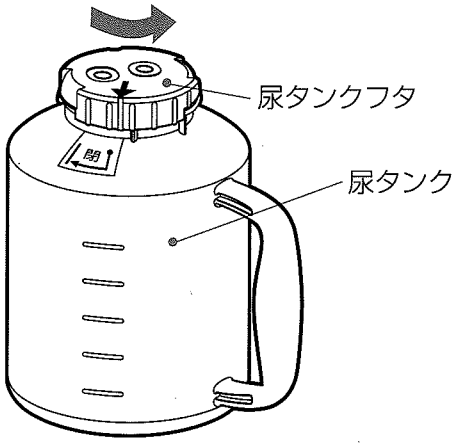
④ 空の水抜きタンクを正しくセットすると**確認**ランプ「4」が消灯します。
(27ページ参照)

尿タンクのお手入れ

- 尿タンクの取り出し取りつけは、13～14ページの「尿タンクに尿がたまったら」に従い行ってください。

1 尿タンクから尿タンクフタをはずします。

- 尿タンクと尿タンクフタは、水またはぬるま湯で洗浄してから本体に取りつけてください。

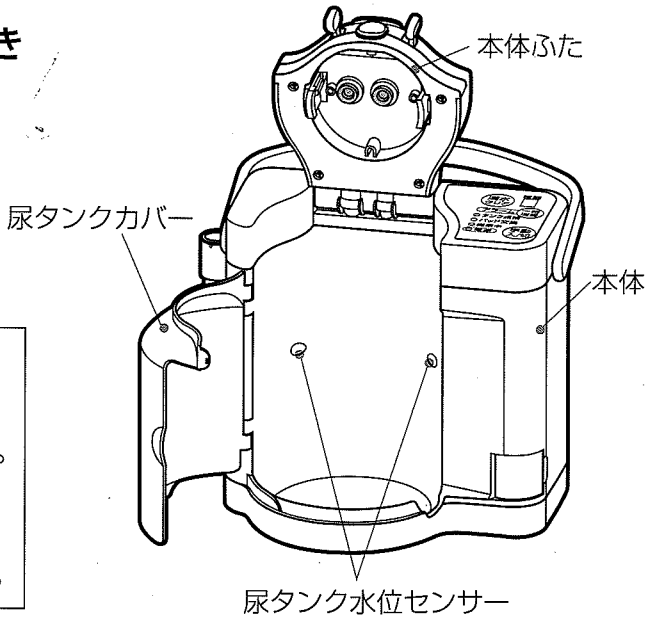


2 尿タンクのひどい汚れは、つけ置き洗いで落とします。

- 次亜塩素酸ナトリウム溶液(0.1%)で1～2時間つけ置き洗いしてください。洗浄後は水洗いして、よく乾かしてください。

お願い

- 汚れがとれないと尿タンク水位センサーが誤検知することがあります。新しい尿タンクと交換してください。
- 尿タンクに、ひび割れ、亀裂、変形などがあると使用できません。新しい尿タンクと交換してください。

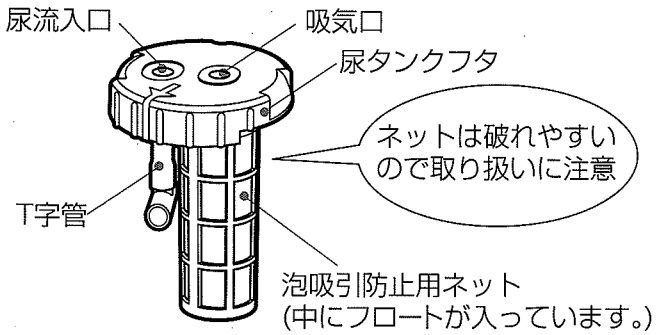


3 尿タンクフタ内側の泡吸引防止用ネットおよびT字管も水またはぬるま湯で洗浄します。

- 泡吸引防止ネット内には満水時のあふれ防止のためフロート(浮き)が設置されています。

注 意

- フロートが正常に機能できるよう必ず水またはぬるま湯で洗浄してください。
- 1～2週間に一度は次亜塩素酸ナトリウム溶液(0.1%)で1～2時間つけ置き洗いしてください。
  洗浄後は水洗いして、よく乾かしてください。



お手入れ

チューブ類のお手入れ

- 各チューブやパッキンに亀裂、ひび割れ、キズ、変形がないか確認してください。
- 各チューブは延長したり切断して使用しないでください。
- 各チューブは折れ曲がり、ねじれ、つぶれがないように取りつけてください。

1 尿吸引チューブのお手入れ

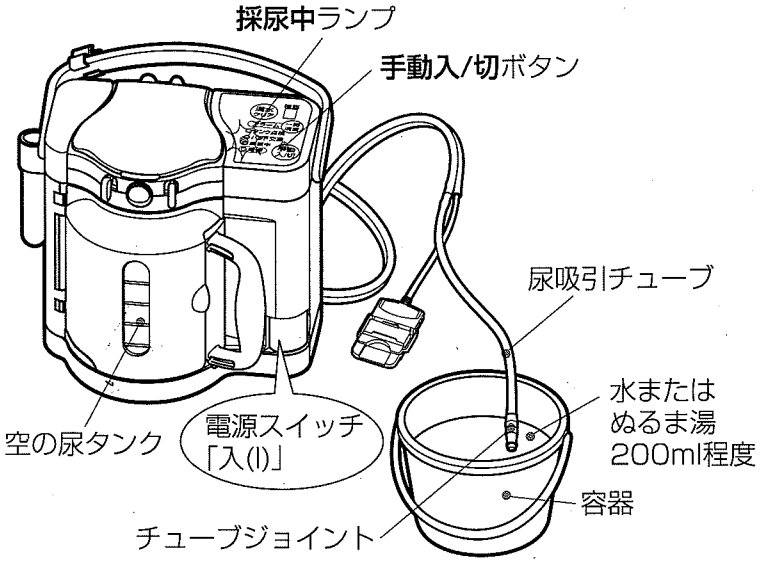
- 尿吸引チューブの洗浄は、尿吸引パッドの交換の都度行ってください。

空の尿タンクを本体にセットします。

① 容器に水またはぬるま湯を200ml程度入れます。

② 尿吸引チューブ先端のチューブジョイントを水の入った容器に入れて**手動入/切**ボタンを押します。

③ 採尿中ランプが点灯してポンプが容器の水を吸引し、尿吸引チューブが洗浄できます。



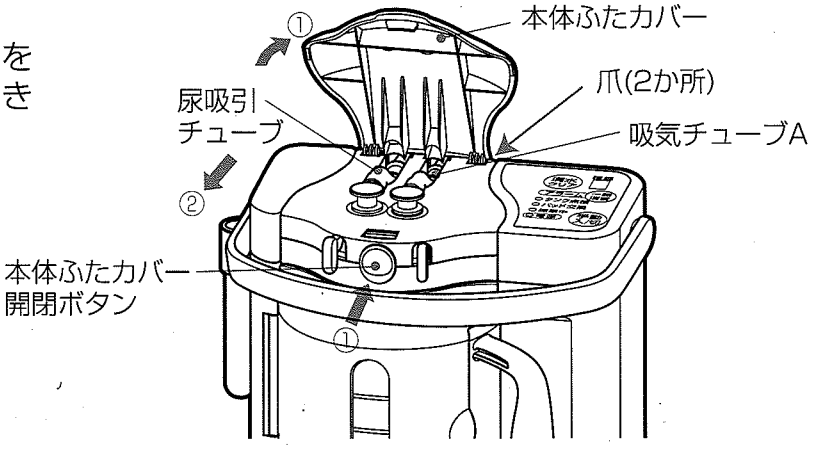
注 意

- 汚れがひどい場合は、電源スイッチを切り電源アダプターの器具用プラグをはずし各チューブを取りはずして次亜塩素酸ナトリウム溶液(0.1%)で1～2時間つけ置き洗いしてください。
- 洗浄後は水洗いして、よく乾かしてください。
  中性洗剤など泡立ちする薬品を本体に吸引させないでください。
  (泡を吸引して故障の原因になります。)

2 尿吸引チューブと吸気チューブAのはずしかた

① 本体ふたカバー開閉ボタンを押して本体ふたカバーを開きます。

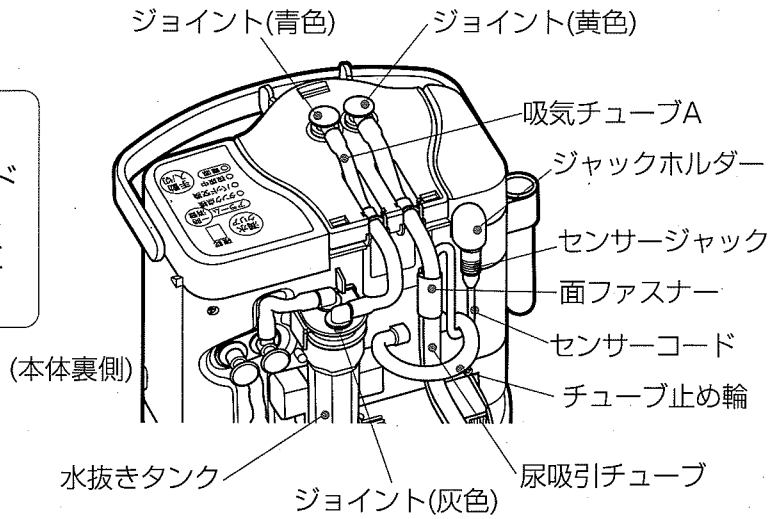
② 本体ふたカバーの爪部を手前にはずすと上方に取りはずせます。



③ ジョイント(黄色)とセンサージャックを引き抜きセンサーコードを尿吸引チューブからはずすとお手入れと交換ができます。

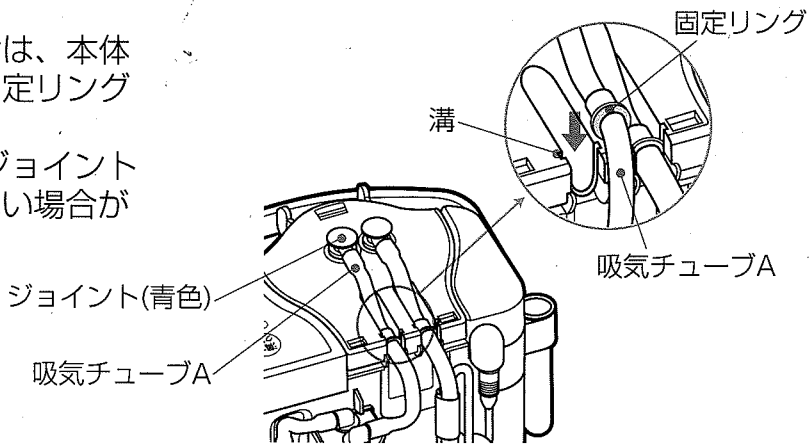
注 意

- センサージャックの根元を持って抜く。(センサーコードは持たない。)
- センサージャックは、絶対にぬらさない。



④ ジョイント(青色)を引き抜き水抜きタンクに接続のジョイント(灰色)を引き抜くと吸気チューブAのお手入れと交換ができます。

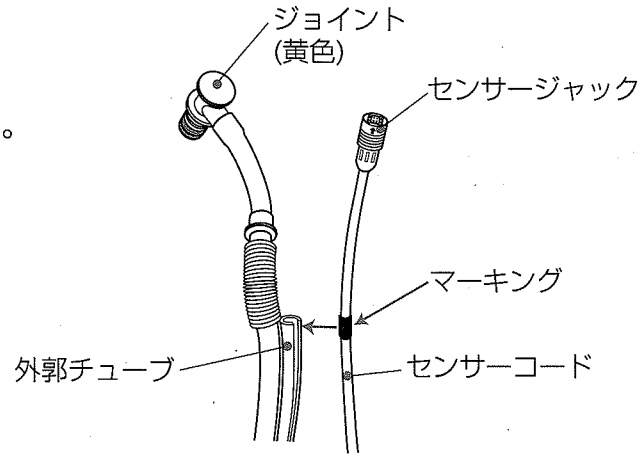
⑤ 吸気チューブAの取りつけは、本体の溝に吸気チューブAの固定リングを差し込んで固定します。
本体の溝からはずれるとジョイント(青色)が抜けて吸引できない場合があります。



3 尿吸引チューブとセンサーコードの取りつけかた

① 尿吸引チューブのジョイント(黄色)側の外郭チューブにセンサーコードを挿入し、面ファスナーで固定します。

- 必ず外郭チューブの先端とセンサーコードのマーキング位置を合わせてください。
位置がズレますと接続ケースとチューブジョイントの尿吸引パッドの取りつけが困難になります。

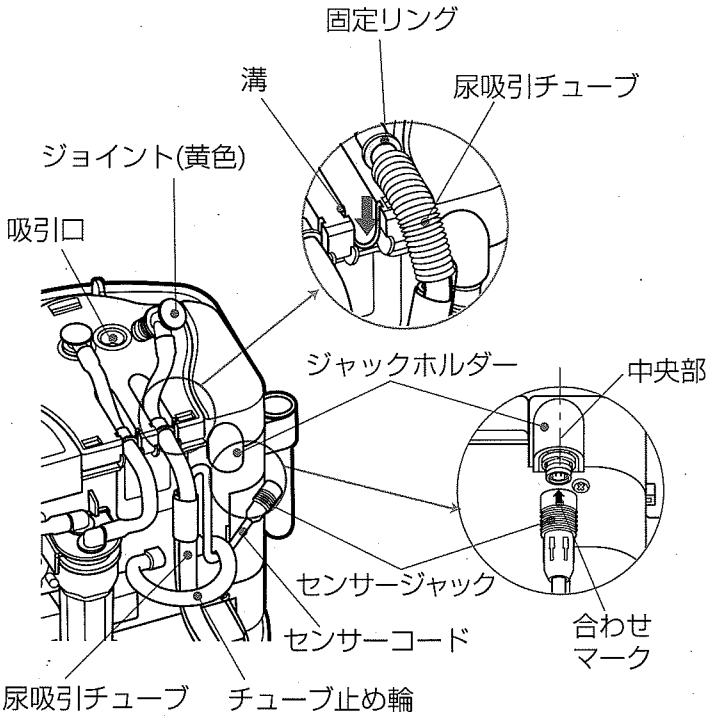


② センサージャックを接続してから尿吸引チューブをチューブ止め輪に下から通し、ジョイント(黄色)を吸引口に止まるまでしっかりと差し込みます。

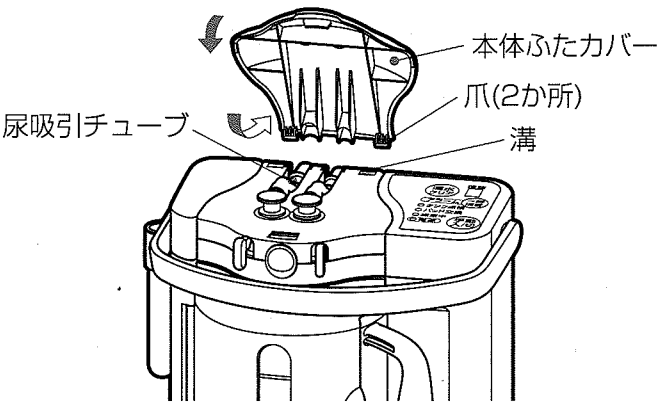
- センサージャックの(⇧)マークをジャックホルダーの中央部に合わせ、しっかり差し込んで接続してください。

注 意

- センサージャックの接続が不十分な場合、接続ケースをパッドセンサーに接続しても**確認**ランプ「1」が消灯しません。(27ページ参照)
- ジョイントの差し込みが不足していますと吸引できません。しっかりと押し込んでください。
- 尿吸引チューブの固定リングは、必ず本体の溝に差し込んで固定してください。



③ 本体ふたカバーの爪部(2か所)を本体の溝に取りつけ、本体ふたカバーを「カチッ」と音がするまで押えて閉じます。



4 吸気チューブBと排気チューブのお手入れ

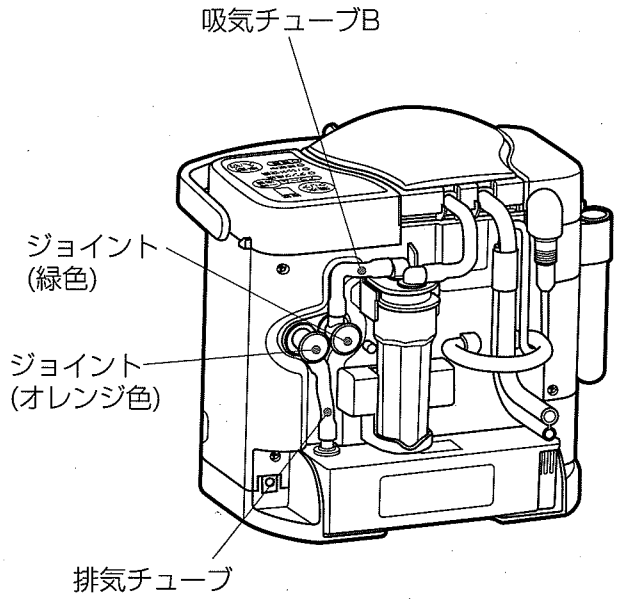
① それぞれのチューブジョイントを引き抜くとはずせます。

② 水またはぬるま湯で洗浄します。汚れがひどい場合には、次亜塩素酸ナトリウム溶液(0.1%)で1～2時間つけ置き洗いしてください。洗浄後は水洗いして、よく乾かしてください。

③ 吸気チューブBのジョイント(緑色)は本体の右側に、排気チューブのジョイント(オレンジ色)は左側に押し込みます。

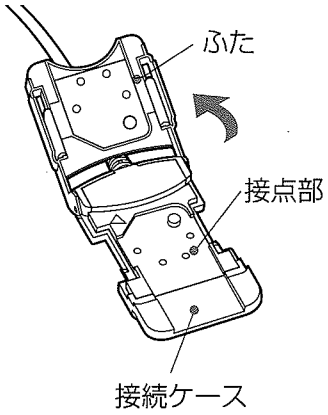
注 意

- ジョイントの差し込みが不足していますと吸引できません。しっかりと押し込んでください。



接続ケースのお手入れ

1 尿吸引パッド交換時に接続ケースの汚れがひどいときは、水洗い後消毒用アルコールを少量含ませた布などで汚れをふきとります。
洗浄後はよく乾燥させてください。
(ショートの原因になります。)



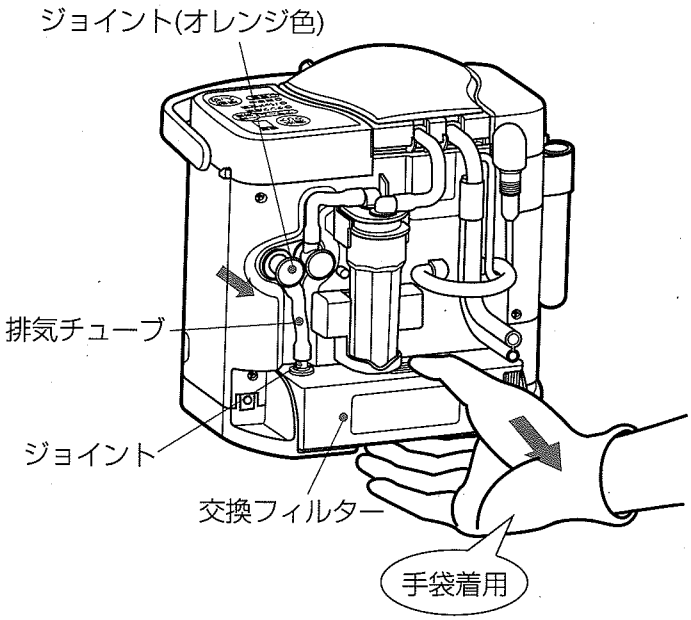
注 意
- 接点部が汚れていると尿吸引パッドを交換しても**確認**ランプ「1」が消えません。
(27ページ参照)

交換フィルターの取り替え

- 交換フィルターは消耗品です。臭いを強く感じるときなど早目の交換をお勧めします。
- 別売りのHU-F01をお買い求めください。

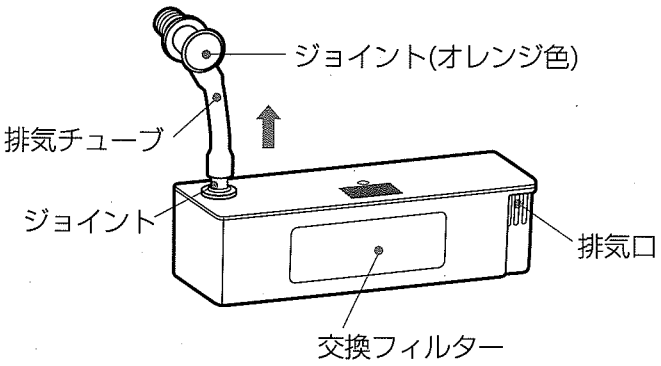
1 排気チューブのジョイント(オレンジ色)を抜きます。

2 交換フィルターの上下をつかんで手前に引き出し本体からはずします。



3 交換フィルターに接続の排気チューブのジョイントを抜くと交換できます。

4 取りつけは、逆の要領で取りつけます。
使用中は、交換フィルターの排気口をふさがないでください。
吸引力が低下したり吸引できなくなります。



注 意
- 排気チューブのジョイントはしっかり押し込んでください。ジョイントの差し込みが不足していますと脱臭効果がなくなったり動作音が大きくなります。

お手入れ

お手入れ一覧表

- お手入れ(尿吸引チューブを除く)の際は、必ず電源スイッチを切り電源アダプターをコンセントから抜いてください。
- 必ず手袋・マスクを着用し、お手入れ後は手洗いを励行してください。
- 洗剤や薬品を使用する場合は、必ず説明書きをよく読み正しくご使用ください。

	日常(使用の都度)	汚れがひどい時	注意事項
本体外観	• 水またはぬるま湯を含ませて固く絞った布でふきます。 • 吸引口パッキンはティシュまたは綿棒を使用してください。	• 消毒用アルコールを含ませてふきます。	• 水洗いや水分を多く含んだ布でふかない。 • ベンジン・シンナーなどは使用しない。
チューブホルダー **水抜きタンク** **尿タンク** **尿タンクフタ**	• 水またはぬるま湯ですすぎ洗いします。 • 必要に応じ、スポンジや柔らかいブラシを使用して中性洗剤で汚れを落とします。	• 水またはぬるま湯で薄めた中性洗剤または次亜塩素酸ナトリウム溶液(0.1%)に1～2時間つけ置き洗いします。	• 洗浄後はよく乾燥させる。 • 洗剤や薬品を使用した後は、必ず水洗いして乾燥させる。 • 毛先の硬いブラシやクレンザーなど研磨剤の入った洗剤は使用しない。
尿吸引チューブ	• 水またはぬるま湯で洗います。 (詳細は22ページ参照)		• 洗浄後はよく乾燥させる。 • 洗剤や薬品を使用した後は必ず水洗いして乾燥させる。 • 中性洗剤など泡立ちする薬品を本体に吸引させない。 • 折り曲げたりつぶしたりしない。
吸気チューブA **吸気チューブB** **排気チューブ**	• 水またはぬるま湯ですすぎ洗いします。		
接続ケース	• 柔らかい布に水またはぬるま湯を含ませ、固く絞ってふきます。 • 必要に応じて消毒用アルコールを少量含ませてふきます。	• 水またはぬるま湯で洗浄後、消毒用アルコールを少量含ませてふきます。 • 汚れが落ちないときは、接点部を紙ヤスリで軽くみがきます。	• 洗浄後はよく乾燥させる。 • 絶対にぬれたままで使用しない。 • ベンジン、シンナー、クレンザーなどは使用しない。 • 接点部はみがき過ぎない。
交換フィルター	• **消耗品です。**効果がなくなってきたら新しいものと交換してください。(型式：HU-F01)		• 水洗いできません。

- 交換部品を用意しています。お手入れしても汚れが落ちない、変形や変色・変質などがひどい場合は早めに新しい部品と交換してください。
- 交換部品のお求めは、本製品の取扱店または36ページのお客様ご相談窓口にお問い合せください。

ランプが点滅したら

つづく

⚠警告 **手袋・マスクの着用と手洗いを励行する。**
(感染の原因)

1 「確認」ランプが点滅したら

- **確認**ランプが点滅しているときは、尿吸引をすることができません。
  表示された数字を見てエラーを解除してください。

表示	内　容	吸引運転		対　応	解除方法
		自動	手動		
「1」	パッドセンサーと接続ケースが正しく接続されていない。	×	○	**正しく接続してください。**(11ページの「接続ケースの取りつけ」を参照。)	正しく接続すると自動解除。(2秒間のテスト運転)
「2」	尿吸引できていない。または、尿吸引パッドが汚れている。(パッドセンサーが排尿を検知し続ける。)	×	○	**尿吸引チューブ・尿タンク・水抜きタンクと各配管接続部を点検してください。**(28ページのNo.1～7を参照。)	尿吸引パッドを交換すると解除。(パッドセンサーを外したら「1」点滅に移行。)
「3」	尿タンクが満水。(尿タンクフタのフロート弁が閉じている。)	×	×	**尿タンクを空にしてください。**	**満水クリア**ボタンを押すと解除。(2秒間のテスト運転)
「4」	水抜きタンクが満水。または水抜きタンクが正しくセットされていない。	×	×	**水抜きタンクを空にして正しくセットしてください。**	正しくセットすると自動解除。
「5」	水抜きタンク水位センサーに強い光があたって感知できない。	×	×	**本体に太陽光など強い光があたらないようにしてください。**	本体裏側に強い光があたらなくなると自動解除。
「9」	真空ポンプの異常。(モーターの動作不良など。)	×	×	**修理を依頼してください。**	電源を切ると解除されるが、修理しないと再び点滅する。

※表示「5」と「9」は通常のご使用でほとんど発生しません。

ランプが点滅したら

- **確認**ランプに「2」が表示された場合、以下の点検を行ってエラーを解除した後、新しい尿吸引パッドに交換してください。

No.	点検箇所	点検内容	処置
1	尿吸引チューブ	① チューブジョイントは尿吸引パッドの差し込み口に奥まで差し込んでいますか。	止まるまで差し込んでください。
		② 折れ曲がったりつぶれたりしていませんか。(本体背面、布団の中、ベット棚周辺)	折れ曲がったりつぶれないように位置を調整してください。
2	尿タンクフタ	① きちんと閉まっていますか。(マークが合う位置まで回してありますか。)	尿タンクのマーク位置に合わせ、止まるまで閉めてください。
		② 上面の吸引口に汚れや異物はありませんか。(白い固形物が付着していることがあります。)	汚れをふき取ってください。異物は取り除いてください。
3	尿タンク	① タンク口のパッキンに汚れや異物はありませんか。	
		② 尿タンク取っ手を本体底の切り欠き部(溝)位置に合わせていますか。	位置を合わせて正しくセットしてください。
4	本体ふた	①「カチッ」と音がするまで閉めていますか。(本体上面と段差ができていませんか。)	「カチッ」と音がするまでしっかり閉めてください。
		② 本体ふた裏側のパッキンに汚れや異物はありませんか。(白い固形物が付着していることがあります。)	汚れをふき取ってください。異物は取り除いてください。
5	本体ふたカバー	● 外れていませんか。(本体ふたカバーと本体ふたにすき間ができていませんか。) ● 奥側のつめ(2か所)は正しく入っていますか。	「カチッ」と音がするまでしっかり閉めてください。本体ふたカバーと本体ふたにすき間がないことを確認してください。
6	吸気チューブA 吸気チューブB	各ジョイントは奥まで差し込んでありますか。	各ジョイントを止まるまで差し込んでください。
7	水抜きタンク	溝部が水抜きタンクフタの突起に合わせて奥まで差し込んでありますか。	溝部と突起を合わせて止まるまで差し込んでください。
8	尿吸引パッド	尿吸引パッドの吸引部(白色シート部)が汚れていませんか。	尿吸引パッドを交換する。
9	接続ケース	接続ケースの接点部に異物が付着していたり、ぬれていませんか。	異物を取り除き、乾かしてからご使用ください。

2 「タンク点検」ランプが点滅したら

- 尿タンクが満水に近づいたお知らせです。
  早めに尿タンクを空にしてください。

3 「パッド交換」ランプが点滅したとき

- 尿吸引パッドの汚れや寿命のお知らせです。
  早めに尿吸引パッドを交換してください。
- 汚れの具合によっては、**パッド交換**ランプが点滅しない場合があります。

「故障かな」と思ったときは

修理を依頼する前に、次の点検をしてください。

症　状		点検するところ	直す方法
動作しない	**電源**ランプが点灯しない。	電源スイッチは「入(I)」になっていますか。	電源スイッチを「入(I)」にしてください。
		電源アダプターは接続されていますか。	電源アダプターを本体とコンセントに接続してください。
		電源アダプターとコードに破損・亀裂・変形など異常はありませんか。	新しい電源アダプター(HU-A01)に交換してください。
操作パネルのランプの点滅が消えない	**確認**ランプ「1」が消えない。(頻繁に点滅する。)	パッドセンサーと接続ケースは正しく接続できていますか。	正しく接続してください。
		センサーコードのジャックは本体に正しく接続できていますか。	
		接続ケースの接点部が汚れていませんか。	消毒用アルコールで汚れをふきとってください。汚れがとれない場合は、紙ヤスリで接点部を軽くみがいてください。
		センサーコードに破損や亀裂など異常はありませんか。	修理を依頼してください。
		尿吸引パッドの内部でセンサーが断線していることがあります。	新しい尿吸引パッドに交換してください。
	確認ランプ「2」が消えない。(頻繁に点滅する。)	本体の各部を点検しましたか。	28ページのNo.1～9にしたがい各部を点検してから新しい尿吸引パッドに交換してください。
		尿吸引チューブ、または尿タンクフタの配管内に汚れや異物がたまっていませんか。	汚れや異物を取り除くか、新しい部品に交換してください。
	確認ランプ「3」が消えない。(頻繁に点滅する。)	尿タンクを空にして**満水クリア**ボタンを押しましたか。	空の尿タンクをセットして**満水クリア**ボタンを押してください。
		尿タンクフタのフロート(泡吸引防止用ネット内)の動きが悪くなっていませんか。	洗浄してフロート(浮き)がスムーズに動くようにしてください。
		吸気チューブA、吸気チューブB、排気チューブが折れ曲がっていませんか。	折れ曲がりを修正してください。
		交換フィルターの排気口がふさがれていませんか。	排気口をふさがないようにしてください。

症　状		点検するところ	直す方法
操作パネルのランプの点滅が消えない	**確認**ランプ「4」が消えない。(頻繁に点滅する。)	水抜きタンクを空にして正しくセットしてありますか。	水抜きタンクを空にして正しくセットしてください。
		水抜きタンクに汚れや異物(シールなど)はありませんか。(水抜きタンクの内側および外側。)	汚れや異物を取り除いてください。汚れが落ちないときは新しい水抜きタンク(HU-T02)に交換してください。
		水抜きタンク水位センサー部の内側に汚れや異物はありませんか。	汚れや異物を取り除いてください。
	確認ランプ「5」が消えない。(頻繁に点滅する。)	水抜きタンクの部分に太陽光など強い光があたっていませんか。(水抜きタンク水位センサーが異常を検知します。)	強い光があたらないようにしてください。
		水抜きタンクは正しくセットしてありますか。	水抜きタンクを正しくセットしてください。
	確認ランプ「9」が消えない。(頻繁に点滅する。)	ー	修理を依頼してください。
	タンク点検ランプが消えない。(尿タンクの尿量が少なくても点滅する。)	尿タンクは空にしてありますか。尿タンクにたまった尿が泡立っていませんか。	尿タンクを空にして洗浄してください。(少ない尿量でも尿の泡立ちが激しい場合は「タンク点検」ランプが点滅しますが異常ではありません。)
		尿タンクに汚れや異物(シールなど)はありませんか。(尿タンクの内側および外側。)	汚れや異物を取り除いてください。汚れが落ちないときは新しい尿タンク(HU-T01)に交換してください。
		尿タンク水位センサー部に汚れや異物はありませんか。	汚れや異物を取り除いてください。
	パッド交換ランプが消えない。	パッドセンサーは接続ケースからはずれていますか。	パッドセンサーを接続ケースからはずし、新しい尿吸引パッドに交換してください。
		接続ケースの接点部に異物が付着していたり、ぬれていませんか。	異物を取り除き、乾かしてからご使用ください。

「故障かな」と思ったときは

症　状		点検するところ	直す方法
操作パネルのランプが点滅しない	尿吸引パッドが便などで汚れていても**パッド交換**ランプが点滅しない。	汚れの具合により検知しない場合があります。(パッドセンサーは排便を検知するものではありません。)	新しい尿吸引パッドに交換してください。 (本体の異常ではありません。)
	同じ尿吸引パッドを24時間以上使用しても**パッド交換**ランプが点滅しない。	パッドセンサーと接続ケースを接続し直していませんか。 (接続した時点から24時間を計測します。)	
	尿タンクが800mlを超えても**タンク点検**ランプが点滅しない。	本体に太陽光など強い光があたっていませんか。 (尿タンク水位センサーが機能できません。)	本体に強い光があたらないようにしてください。
	パッドセンサーをはずしても**確認**ランプ「1」が点滅しない。	接続ケースの接点部に異物が付着していたり、ぬれていませんか。	異物を取り除き、乾かしてからご使用ください。
		確認ランプに他の数字が点滅していませんか。 (「2」「3」「4」「5」「9」)	表示された数字にしたがって対処してください。 (27ページの「ランプが点滅したら」を参照)
	尿モレなど尿吸引が正しくできなくても**確認**ランプ「2」が点滅しない。	尿吸引パッドの装着が正しくできていないときなど、点滅しないことがあります。	別冊「①初めて使う方のために」をよくお読みになり正しくご使用ください。 (本体の異常ではありません。)
		確認ランプに他の数字が点滅していませんか。 (「3」「4」「5」「9」)	表示された数字にしたがって対処してください。(27ページの「ランプが点滅したら」を参照)
	尿タンクが1000mlを超えても**確認**ランプ「3」が点滅しない。	尿タンクフタのフロート(泡吸引防止用ネット内)の動きが悪くなっていませんか。	洗浄してフロート(浮き)がスムーズに動くようにしてください。
		確認ランプに他の数字が点滅していませんか。 (「4」「5」「9」)	表示された数字にしたがって対処してください。(27ページの「ランプが点滅したら」を参照)
	水抜きタンクが約18mlを超えても**確認**ランプ「4」が点滅しない。	水抜きタンクが正しくセットされていますか。	水抜きタンクを正しくセットしてください。
		水抜きタンク水位センサーはポンプが稼動したときのみ満水を検知します。	異常ではありません。
		確認ランプに他の数字が点滅していませんか。 (「5」「9」)	表示された数字にしたがって対処してください。 (27ページの「ランプが点滅したら」を参照)

	症　状	点検するところ	直す方法
その他	**手動入/切**ボタンを押してもポンプが動かない。(**採尿中**ランプが点灯しない。)	電源ランプが点灯していますか。	電源アダプターを接続して電源スイッチを入れてください。(9ページの「電源アダプターの接続」を参照)
		確認ランプに「3」「4」「5」「9」が点滅していませんか。	表示された数字にしたがって対処してください。(27ページの「ランプが点滅したら」を参照)
	吸引できない。(**採尿中**ランプが点灯してポンプは動作している。)	尿吸引パッドが正しく装着されていますか。	別冊の「①初めて使う方のために」をよくお読みになり正しく装着してください。
		本体の各部を点検しましたか。	28ページのNo.1～9にしたがい各部の点検をしてください。
	頻繁に尿漏れする。 吸引力が低下している。 運転音が大きい。	本体の各部を点検しましたか。	
		各チューブのジョイントは奥までしっかり差し込んでありますか。	各ジョイントを奥までしっかりと差し込んでください。
		各チューブが折れ曲がったりつぶれていませんか。	チューブの折れ曲がりやつぶれを直してください。不具合があれば新しいチューブに交換してください。
		尿吸引チューブ先端のチューブジョイントに汚れや異物が詰まっていませんか。	つまようじなどで汚れや異物を取り除いてください。
		尿吸引チューブ、または尿タンクフタの配管内に汚れや異物がたまっていませんか。	汚れや異物を取り除くか、新しい部品に交換してください。
		交換フィルターの排気口がふさがれていませんか。	排気口をふさがないでください。
		尿吸引パッドが汚れて目詰まりしていませんか。	新しい尿吸引パッドに交換してください。
	吸引力が低下している。	長期間ご使用になると吸引ポンプの能力が低下します。	修理を依頼してください。
	運転音が大きい。	排気チューブ、交換フィルターは、正しく取りつけていますか。	25ページの「交換フィルターの取り替え」にしたがい正しく取りつけてください。
	臭いがする。	交換フィルターは正しく取りつけていますか。	
		交換フィルターの寿命です。	新しい交換フィルター(HU-F01)に交換してください。
		各チューブやタンクが汚れていませんか。	26ページの「お手入れ一覧表」にしたがい洗浄するか新しい部品と交換してください。

以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときはご自分で修理なさらないで本製品の取扱店にご相談ください。

製品を廃棄するときのお願い

ご使用済みの「チューブタンクセット」の廃棄に際しては、お住まいの地域の条例などに従って処理してください。

仕　様

名　　称		尿吸引ロボヒューマニー 本体
電源アダプター(HU-A01)	入　力	AC 100V 50-60Hz共用　22VA
	出　力	DC 9V 1.2A
消費電力	動　作　時	約10W
	待　機　時	約1W
定格連続運転時間		10分
寸　法	本　体	幅23.5cm×奥行き18.5cm×高さ21.5cm
	電源アダプター	幅約5cm×厚さ約4cm×長さ約7cm
	尿吸引チューブ	長さ約2m
電源アダプターのコードの長さ		約1.8m
質　量	本　体	約2kg (別売品「チューブタンクセット(HU-ST01)」を取りつけたとき)
	電源アダプター	約100g
尿タンク容量		1000ml
ポンプ運転時間		3分間(オートオフ機能つき)
機能	尿タンク水位センサー	尿タンク満水予告機能(約800ml)
	尿タンクフタフロートセンサー	尿タンク満水停止機能(約1000ml)
	水抜きタンク水位センサー	水抜きタンク満水停止機能(約18ml)
運転	自　動	パッドセンサーの接続による自動吸引
	手　動	「手動入/切」ボタンによる手動吸引 (3分間のオートオフ機能つき)
	換　気	1時間以上運転がない場合に約10秒間の定期運転 (接続ケースをパッドセンサーに接続した場合)
付　属　品		•取扱説明書(本書)

長期間お使いいただくためのご注意

点検確認

★長年ご使用の尿吸引ロボヒューマニー 本体 の点検を！

こんな症状はありませんか？	ご使用中止
• 電源プラグや電源アダプターが異常に熱くなる。 • 電源コードに"ひび割れ"や"傷"がある。 • 本体が変形していたり、こげくさい臭いがする。 • 尿漏れが止まらない。	このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず本製品の取扱店にご相談ください。

本製品を長期間お使いいただくためのご注意

• 吸引ポンプには寿命があります。

吸引能力が低下したと思われる場合は、本製品の取扱店にご相談ください。
吸引ポンプは累計の稼動時間約800時間を目安に定期的に交換されることをおすすめします。

交換フィルター・別売交換部品・別売品を用意しています。尿吸引ロボヒューマニー取扱店でお買い求めください。

■ 交換フィルターは消耗品です。

脱臭効果がなくなると寿命です。新しい交換フィルターと交換してください。

- 交換フィルター　型式：HU-F01

■ 別売交換部品

- 尿タンクセット　型式：HU-T01
  - 尿タンク　1個
  - 尿タンクフタ　1個
- 配管セット　型式：HU-T02
  - 水抜きタンク　1個
  - 吸気チューブA　1本
  - 吸気チューブB　1本
  - 排気チューブ　1本
- 尿吸引チューブ　型式：HU-T03

■ 別売品

- バッテリーパック　型式：HU-B01
- キャリーケース

お客様ご相談窓口

尿吸引ロボヒューマニーついてのご相談や修理のお問い合せは
本製品の取扱店または下記窓口にご相談ください。

「ユニ・チャームいきいきダイヤル」(日本全国から無料でかけられます。)

電話番号　０１２０－０４１－０６２(よいおむつ)

FAX番号　０３－６７２２－１０３２

受付：月曜日～金曜日(祝日を除く)午前9時30分～午後5時(病気についてのご相談はご遠慮ください。)

※お手紙での場合は下記あてにお送りください。
〒108-8575　東京都港区三田3-5-27 ユニ・チャーム株式会社「ユニ・チャームいきいきダイヤル」

- 「修理」および「部品購入」については、本製品の取扱店にお問い合わせください。
  本製品の取扱店がご不明なときは、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

販売元: **ユニ・チャーム ヒューマンケア株式会社**
〒108-0074　東京都港区高輪3-25-23

製造元: **株式会社 日立製作所**
〒100-8280　東京都千代田区丸の内一丁目6番6号

23000201　23456789XYZ2(KW)EDCBA